

Appear VS. Disclose

— 『大いなる遺産』における、ある修正について —

渡 部 智 也

1. はじめに——修正の多い物語

チャールズ・ディケンズ (Charles Dickens) の長編小説第13作目にあたる『大いなる遺産』 (*Great Expectations*, 1860–61) は、〈修正の多い物語〉である。その最たるものは、作品の結末の書き換えであろう。本作を書き終えたディケンズは、敬愛する作家ブルワー・リットン (Edward Bulwer Lytton) の元を訪れ、結末を含んだ原稿を見せた。ところがそれを讀んだリットンが、「ピップを孤独な男のままにしておく結末」 (“a close that should leave Pip a solitary man”; *Life* 3: 335) に反対し、それがディケンズには「もっともな理由」と感じられたため、急遽書き換えることになったのだ。この結末の変更については、これまでも論文や作品翻訳の解説など、様々な場で言及されているため、ここで細かく記す事はしないが、ごく簡単にまとめておくと、ファーストエンディング (書き換える前の結末) が、主人公ピップと彼の憧れの女性エステラとの別れを明示するものであったのに対し、セカンドエンディング (書き換えた後の結末) は、両者が結びつく可能性を残した (少なくとも、そのように読める) ものとなっている。これら2つの結末のうち、いずれの結末が本作にふさわしいかという問題については、これまで多くの批評家の議論的になってきた。¹

とはいえ、この結末の変更は、本作に関わる無数の修正の1つに過ぎない。そもそも、本作は物語の終わりではなく、物語の始まる前、すなわち出版される前の段階で、書き換えを余儀なくされていた。というのも、本作はディケンズが当初意図した形で出版することが叶わなかった作品だからである。ディケンズが本作の着想を得て執筆を開始したのは、1860年の後半、9月下旬であったとされている。²そしてディケンズは本作を、月刊分冊という形態で出版するつもりだったという。月刊分冊とは、作品を分割し (通常は20冊)、毎月少しずつ発行していくという出版方式で、読者の反応を見ながら作品の進展に微修正を加える事ができるという点で、ディケンズが非常に得意とした方式だった。ところが、当時ディケンズが編集長を務める週刊雑誌『一年中』 (*All the*

Year Round) の売れ行きが悪化し、何らかの手を打つ必要が生じてしまう。売れ行き悪化の主要因が、同誌に1860年8月から連載が開始されたチャールズ・リーヴァー (Charles Lever) の小説『馬上の一日』 (*A Long Day's Ride*) の評判の悪さであったため、立て直しには自分の小説を巻頭に掲載するしかないと考えたディケンズは、当初の計画を変更し、『大いなる遺産』を『一年中』に連載する事を決めたのである。『一年中』は週刊誌であるため、月刊分冊で出版するのとは、全体の長さも毎号ごとに必要となる分量も大きく異なる。また、特に雑誌の売れ行きを向上させるという明確な目的を持って連載する以上、読者の関心を毎週かき立てるような工夫が重要となる。言うなれば、毎週何らかの山場を用意する必要があるのだ。そのため、当初のプランから数々の修正が必要となったのである。こうして生まれた作品の草稿は、多数の修正が書き込まれたものとなり、出版にあたっては、その草稿からさらに無数の修正が施されることとなった (図1)。

無論、その修正の全てが重要なものではなく、修正内容は登場人物の名前の変更から、ジョーを中心とする登場人物の言葉の訛りをより忠実に表現するための綴りの変更など、大小様々である。しかしながら、そのような一見何気ない修正の中にも、興味深いものが含まれている。その1つが本稿で扱う、立て続けに3度見られる“appear”から“disclose”への単語の修正である。本作の第36章で、³成人したピップは、自らに莫大な財産を贈与してくれる人物の正体について何らかのヒントを得ようと、後見人である弁護士ジャガーズを追求する。それに対するジャガーズの、さほど長くはない返答の中で、実に3度も同じ修正、すなわち“appear”という単語が“disclose”に変更されているのである。すでに述べたように、本作を出版するにあたり、ディケンズは草稿に数々の修正を加えている。とはいえ、1つの短い段落で特定の単語を3度も修正する、というのは他に例がなく、そこには何らかの意味が潜んでいると考えられる。しかしながらこの点についてこれまで着目したのは、デイヴィッド・パロイシアン (David Paroissien) のみで、その彼も、「3度、同じ単語を修正している」と淡々と

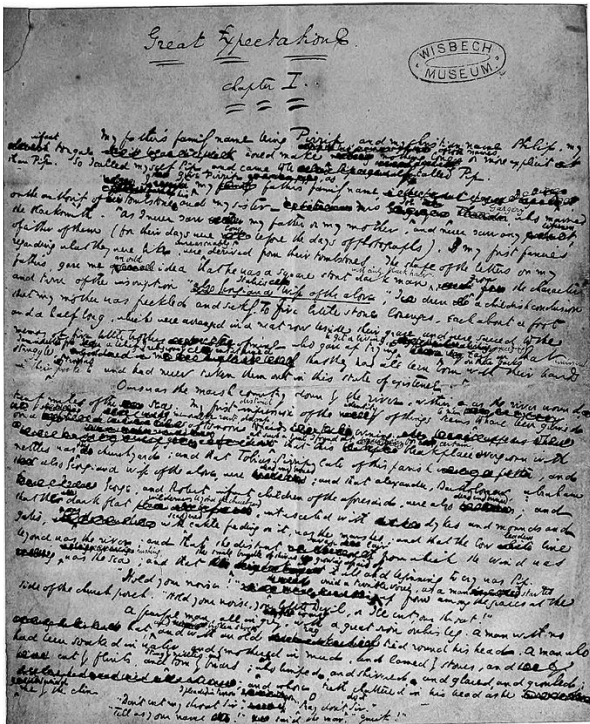


図1：『大いなる遺産』の草稿1ページ目
イギリスの Wisbech & Fenland Museum 所蔵。見
ての通り、文章を書いた後で、無数の上書き、修正が
施されているのが分かる。
画像は Cambridge University Press 発行のファクシ
ミリ版 *The Manuscript of Great Expectations: From
the Townshend Collection, Wisbech* (2011) より。

事実を述べるに留まっている (292)。本稿では、ディケンズがそのような修正を施した事の意味、あるいはその意図について考察する。

2. 問題の台詞に至る状況について

本格的に言葉の分析を行う前に、まずは本稿で中心的に扱う箇所に至る前後の状況を整理したい。「はじめに」でも触れたように、問題の台詞は『大いなる遺産』の第36章に登場する。この章で21歳の誕生日を迎え、成人に達したピップは、後見人の弁護士ジャガーズに呼び出される。ジャガーズと対面したピップはまず最初に、自分に財産を贈与してくれた人物について今日教えてもらえるのか、と問いかけ、即座に拒否される。しつこく食い下がったものの、何も教えてもらえない事を悟ったピップは、「何か受け取るものはないか？」と尋ね、その場で500ポンドという大金を渡される。そして、これから毎年合計この金額が支払われるということ、今後は自分でお金のやりくりをする必要があるということ、毎四半期ごとに事務員のウェミックから125ポンドを受け取るようにすること、との指示を受ける。この額は、彼がいわゆるアッパー・ミドルとしての生活が出来る事を意味しており、これまで曖昧であった、ピップが受け取る「財産」が、具体的な形で彼に示される事となる。⁴ 感謝の

言葉を述べた上で、再び自分の恩人について尋ねるピップの執拗さに対し、業を煮やしたように答えるジャガーズの台詞が、次の通りである。

“When that person discloses,” said Mr. Jaggers, straightening himself, “you and that person will settle your own affairs. When that person discloses, my part in this business will cease and determine. When that person discloses, it will not be necessary for me to know anything about it. And that’s all I have got to say. (288、下線は論者による。以下、引用文中の下線は断りがない限り、全て論者によるものである)

最終的に自分には関与しないので、全てはその人物とピップ次第である、と述べているわけだが、注意したいのは下線を引いた“discloses”が全て、草稿では“appears”と記載されていたという点である。すでに触れたように、この“appear”や“disclose”に限らず、決して長くないこのような段落で同じ単語が3度も修正されている、というのは修正の多い本作でも他に例を見ない。⁵ 確かに、ここで“When that person discloses”という〈同じ表現〉をジャガーズが3度繰り返していることから、それに併せて3度修正したに過ぎない、つまり1つの段落で3つの修正が行われたのは、あくまで偶然の産物である、という考え方も可能である。しかし逆に言えば、そもそもこのような短い段落の中で、3度も同じ表現を使っているという事自体が特殊であり、これはジャガーズがピップに対して念を押そうとしているということの現れと言える。そのような重大な台詞に現れる特定の単語を全て修正しているわけで、単なる偶然とうち捨てるのではなく、そこに何らかの、そのまま放置しておく事のできない事情、修正せねばならない理由があったと考えた方が妥当であろう。以下、これらの単語の持つ意味や、ディケンズ自身による他の場面での単語の使用例という観点から、この修正の意味について追及していく。

3. Appear VS. Disclose

(1) 使用頻度の違い

ここでは“appear”と“disclose”という2つの単語の違いについて、ディケンズ作品における使用頻度や、語源的な観点から分析していきたい。まずはこれら2つの単語がディケンズ作品、特に『大いなる遺産』でどのように用いられているか、という点について考えてみたい。ディケンズの長編小説15作品中、“appear”と関連する単語(“appear”の変化形)は1862回使用されている。⁶ 一方、“disclose”と関連する単語に目を向けると、こちらは106回しか使用されていない。また、『大いなる遺産』

だけに目を移すと、この作品でディケンズは前者を71回使用しているのに対し、後者は僅か7回しか使用していない(しかもそのうち3例は、本稿で取り上げるジャガーズの台詞に見られるものである)。本研究は厳密な単語の使用頻度等の数値に基づいた統計学的分析をおこなうものではないため、これ以上の細かい数値を出すことはしないが、“appear”に関する単語の方が、“disclose”に関する単語よりも遥かに高い頻度で使用されている事が窺える。つまり“appear”の方がディケンズにとっては自然に使用される単語であり、この場面でわざわざ使用頻度の低い単語に変更していたという事は、そこにはやはり何らかの意味があったと考えるべきだろう。

(2) 語源からみた違い

次に語源から見た両者の意味の違いについて考えていこう。これらの単語は一見したところ、似たような意味を持つ単語に思われる。しかしながら、語源的に見ると、大きくニュアンスが異なっている事が分かる。まず“appear”であるが、『オックスフォード英語辞典』(*Oxford English Dictionary*、以下 *OED* と略す)によれば、この単語の語源はラテン語の“*apparere*”であり、元々“to appear”、すなわち「現れる」という意味の単語だったとされている。そして最も古い定義として、“To come forth into view, as from a place or statement of concealment, or from a distance; to become visible”と説明されている。この語源及び定義に従えば、この単語は従来から「出てくる」、という意味を持ち、「(目に)見えるようになる」という意味だったという事、さらに、「隠れていたものが目に見えるようになる」という意味合いもあるが、必ずしも隠れていたかどうかは問題ではなく、ともかく「現れる」、あるいは「見えるようになる」という点に主眼が置かれた単語だという事が分かる。

続いて“disclose”の語源について見てみよう。同じく *OED* によれば、“disclose”は古フランス語で、“*uncover, open, free*”という意味を持つ単語“*desclos*”をその語源に持つという。そしてその定義としては、“To open up (that which is closed or shut); to uncover, unfold; to unfasten”と説明されている。つまり、こちらも「出てくる」という意味の単語ではあるが、単に出てくるのではなく、〈隠れていたモノが〉出てくる、という意味合いが強い単語だという事が分かる。

この語源的な違いを念頭に置いて、先ほどのジャガーズの台詞を考えてみよう。草稿にあるように、ピップの恩人が“appear”する、と述べた場合、“appear”は〈目に見える〉というニュアンスの強い言葉であるため、これはピップの目の前にその人物が〈物理的に姿を現す〉という事を意味する。一方、これが“disclose”となると、〈これまで分からなかった(隠れていた)恩人が誰か分かる〉ということ、つまり、〈恩人の正体が分かる〉と

いう意味合いの台詞だという事になる。似たような単語ではあるが、このようにニュアンスの違いが生じるのである。

4. ディケンズはなぜ単語を変えたのか？

次に、『大いなる遺産』の当該場面以外に見られるこれらの単語の使用に着目し、ディケンズが単語を変えたことの意味を探りたい。まず最初に注目したいのは、同じく第36章でジャガーズの台詞の直前に見られるピップの台詞である。というのも、ピップがここでジャガーズに対し、“appear”という単語を使用しているからだ。恩人の正体を知りたいピップは、繰り返しジャガーズにそのことを尋ねる。まず彼は、“Is it likely … that my patron, the fountain-head you spoken of, Mr. Jaggers, will soon … come to London?” (287) と、恩人が程なくロンドンにやってくる可能性を尋ねる。この問いにジャガーズは明確には答えず、初めて会ったときに自分がピップになんと言ったか、と問い返す。それに対してピップは、“You told me, Mr. Jaggers, that it might be years hence when that person appeared.” (287) と“appear”という単語を用いて答え、ジャガーズはそれに同意する。ところが興味深いことに、ジャガーズは厳密にはそうは言っていないのである。第18章でジャガーズが謎の人物の代理人としてピップの前に姿を現した際、彼はピップに財産を譲る人物がいつその正体を現すかについて、こう説明している。

Now you are to understand, secondly, Mr. Pip, that the name of the person who is your liberal benefactor remains a profound secret, until the person chooses to reveal it. I am empowered to mention that it is the intention of the person to reveal it at first hand by word of mouth to yourself. When or where that intention may be carried out, I cannot say; no one can say. It may be years hence. (137)

ここでピップの恩人の正体について、その人物が明らかにするまで秘密であること、その人物が直接ピップに伝えるつもりだということ、それがいつ、どこでおこなわれるかは分からないということ(下線の意味については後述する)、が述べられているが、見ての通り“appear”という単語は使われていない。恩人が“appear”するというのは、あくまでジャガーズが用いた「口伝えで」(“by word of mouth”)という言葉に基づいた、ピップの推測に過ぎないのである。実のところ、ジャガーズは作品全体を通じて“appear”という単語を1度しか用いていない。それはピップに500ポンドを渡した直後の、今後は

この金額で生活せねばならぬと言う場面、“at the rate of that handsome sum of money per annum, and at no higher rate, you are to live until the donor of the whole appears.” (287) という台詞だけである。しかも興味深い事に、こう言った直後に「つまり」(“That is to say”) と言って言葉を続け、「その財産の持ち主と君が直接やりとりをするようになるまで」(“until you are in communication with the fountain-head”; 287) と述べて、直前の“appear”という単語をかき消してしまうのである(“in communication with”というのは、必ずしもその人物がピップの前に現れる事を意味していない)。そもそもジャガーズは、草稿の段階で“appear”という単語を作品を通して4度しか用いていなかったのだが、出版にあたって本稿で問題としている修正がなされた結果、その使用回数はたった1度、それもはっきりしない形の1度のみとなったのである。いわばジャガーズは、“appear”という言葉を選んでいる節がある(ディケンズが、ジャガーズに使わせないようにしている)のである。

このことの意味について考えるために、次に別の場面における、ジャガーズの“disclose”という単語の使用を見てみよう。第40章で、ピップが自分の恩人の正体を知ったと知らされたジャガーズは慎重に言葉を選びながら(そしてピップにもそうするようにと促しながら)、次のように述べる。

“And Magwitch—in New South Wales—having at last disclosed himself,” said Mr. Jaggers, “you will comprehend, Pip, how rigidly throughout my communication with you, I have always adhered to the strict line of fact. There has never been the least departure from the strict line of fact. You are quite aware of that?” (334)

ここでジャガーズは、恩人としてのマグウィッチがその正体を現したという話をする際に、“disclose”を用いている。語源のところで述べたように、この単語には〈隠れていたモノが明らかになる〉という意味合いがあるため、まさに〈正体が明らかになる〉、という意味で用いているわけだが、一連の“appear”から“disclose”への単語の修正と合わせて考えると、首尾一貫してマグウィッチについてジャガーズは“appear”ではなく“disclose”という言葉を使用しようとしている、あるいは使用しようとするように〈描かれている〉事が分かる。なぜ“appear”という言葉を選べるのであろうか？あるいは、その言葉を使うことに、どのような差し障りがあるのだろうか？

まず、ピップの恩人が“appear”する、という言葉の意味を考えよう。語源的な分析のところで述べたように、“appear”には〈目に見える形で出てくる〉というニュ

アンスが含まれており、恩人が“appear”する、ということは、ピップの前に〈物理的に〉姿を現す、ということの意味している。しかし、恩人ことマグウィッチは、罪を犯してオーストラリアに流刑になった人物である。彼は盗んだ札を流した罪で14年の流刑を宣告され、次いで逃亡を図った咎で、流刑は「一生涯」に延長された。そのような人物が本国に帰国して捕まれば、即座に極刑となり、それを助けた人物も同様に罪に問われる。⁷従って、もしジャガーズが、ピップの恩人が“appear”する、と述べたらどうなるか？その場合、その囚人が無断で帰国することを弁護士である彼自身が黙認している、あるいは少なくともそのことを想定していると捉えられ、場合によっては彼自身罪に問われかねない事となる。その危険性を認識しているからこそ、特にマグウィッチ帰国後のジャガーズは、ピップに“be careful” (333) と念を押し、本当はイギリスにいると分かっているマグウィッチのことを、わざわざ“Magwitch—in New South Wales—”と繰り返して呼び、予防線を張っているのである。このように慎重で、決して危ない橋を渡らないジャガーズが、不用意に“appear”という言葉を連呼するとは考えられない。その点に気づいたからこそ、ディケンズは草稿に記した3度の“appear”という表現をやめ、“disclose”へと修正したのではないだろうか。

このような視点でこの修正について考えると、もう1つの興味深い修正との関連が見えてくる。先程引用した、最初にジャガーズがピップに対して謎の人物がいつ正体を明かすか、を述べている場面で、彼は“When or where that intention may be carried out, I cannot say; no one can say.”と述べていた。この中で下線を引いた部分、すなわち「どこで」という表現は、草稿には存在せず、出版にあたって新たに書き加えられたのである。ここでジャガーズは、その人物は最終的にピップに直接自らの正体を明かすつもりだ、ということ述べている。しかしそれは、結局の所、彼がピップの前に現れるということ、つまりオーストラリアを脱出してイギリスにやってくるという意味を内包しており、そう述べる事は究極的にはジャガーズ自身の立場を危険にさらす恐れを生むこととなる。そこで、ディケンズは、“or where”という2単語を追加した。この「どこで」という何気ない言葉は、一見すると「ロンドンか、ピップの故郷(あるいはサティス・ハウス)か、どこになるかは分からない」という意味に見えるが、実は「イギリスか、オーストラリアか分からない」という意味合いをも内包しており、早い話が「ピップがオーストラリアに行き、そこでマグウィッチに会う」という可能性が示唆されているのである。ピップがオーストラリアに行くこと自体は問題がなく、荒唐無稽な話ではあるが、そこで再会した囚人から「実は俺がお前に財産を譲ったんだ」と聞かされる、というのは全く法に触れることではない。つまり、

“When that intention may be carried out,” という草稿の文章のままではジャガーズが罪に問われる危険性がわずかに残っていたものが、この修正によって彼に逃げ道を与え、そのようなことが起こらないようにしているのである。実に自らの言葉に慎重で、隙を見せることのないジャガーズらしい台詞になっていると言えるのではないだろうか？この部分の修正は、ジャガーズの“appear”から“disclose”への言葉の修正と連動し、〈抜け目のないジャガーズ〉という人物を生み出すための、ディケンズの工夫の表れなのである。

5. おわりに——どう訳すか？

本稿では、ディケンズが『大いなる遺産』の第36章に施した、ジャガーズの台詞における徹底した単語の修正の意味について考察した。ジャガーズが用いた単語を、罪人マグウィッチがイギリスに戻ってくるという意味合いを内包した“appear”から、必ずしも彼の帰国を意味するとは限らない“disclose”に修正することで、ディケンズはジャガーズの抜け目なさを巧みに表現しているのである。無論、この修正の意図に関するディケンズ自身が残した手紙等がない以上、確定的なことを言うことはできない。しかしながら、作品を通しての“appear”と“disclose”の使い分けや、ジャガーズに関連した他の修正の意味を併せて考えると、そのような可能性が高いと言うことはできるのではないだろうか。

最後に本稿の締めくくりとして、当該箇所が翻訳でどのように表現されているかを考察したい。『大いなる遺産』は、とかく長くなりやすいディケンズの小説の中では比較的コンパクトにまとまっており、彼の代表作の1つとして数えられることが多い。そのことも手伝って、これまで日本でも数多くの翻訳が出版されているが、特に2010年以降に限定しても、合計4つの翻訳が出されている。以下、出版年順に、各翻訳における当該箇所を見てみよう。

「晴れて問題の人物が姿を見せた暁には」とジャガーズ弁護士は腰をすっと伸ばしながら言った。「君とくだんの人物とで君自身の要件を処理することになろう。晴れて問題の人物が姿を見せた暁には、この一件に関わる私の職務は終止・失効しよう。晴れて問題の人物が姿を見せた暁には、私はその点について何ら知る要はない。とだけ断っておけば事足りよう」(田辺訳, 344)

「その人物が姿を現した時」ジャガーズは背を伸ばして言った。「君の問題は、君とその人物との間で処理されることになるだろう。その人物が姿を現した時、わしのこの件にかかわる仕事は終了

し、完結する。その人物が姿を現した時、わしはこの件について何を知る必要もなくなる。言えるのはそれだけだ」(佐々木訳, 下巻 69)

「その人物が姿を現わしたら」身体をまっすぐ伸ばしながら、ジャガーズ先生は言った。「きみの身辺の問題はきみとその人物とで決めることになるだろう。その人物が姿を現わしたら、この件でのわたしの役目はすみ、終了することになるね。その人物が姿を現わしたら、そのことについてもうわたしは何ひとつ知らなくていいことになるね。わたしの話すことはこれだけだ」(石塚訳, 下巻 72)

「その人物が現れれば」ジャガーズ氏は背を起して言った。「きみの問題はすべて、きみとその人物が取り扱うことになる。その人物が現れれば、本件に関する私の役割は完全に終了する。その人物が現れれば、私は本件についていっさい知る必要がなくなる。話せるのはここまでだ」(加賀山訳, 下巻 82)

原文の“disclose”にあたる部分は、順に「姿を見せた」「姿を現した」「姿を現わした」「現れれ(ば)」となっており、いずれの訳においても、その人物が〈物理的に〉ピップの前に現れる事が前提の訳となっている。断っておくが、既存の訳に問題がある、などと言うつもりは毛頭ない。作品を翻訳する場合、訳すべき対象となるのはあくまでその完成された文学テキストである。従って、最終的に出版されたエディションを純粹に読み解くと、自然とこういった訳文になるであろう。しかし一方で、本稿で論じてきたように、この場面で実は単語の修正がなされていた、ということ念頭に置いて考えると、これらの訳ではいささか具合が悪いようにも思えてくる。特に、マグウィッチが帰国し、ピップの前に姿を現す、ということ、慎重で隙を見せないジャガーズが(はっきりと、ではないにせよ)何度も口にする、という形になってしまうのは、彼という人物にそぐわないのではないだろうか。最後に、“appear”から“disclose”への修正に関する本稿での考察を踏まえた上で、当該箇所の拙訳を提示し、本稿の締めくくりとしたい。

「その人物が自らの正体を明かしたときには」とジャガーズ氏は背筋を伸ばして言った。「君とその人物とで問題を話し合うことになる。その人物が自らの正体を明かしたときには、この件における私の役目は終了、完結することになる。その人物が自らの正体を明かしたときには、私がこの件について何も知る必要はなくなる。私ができるこ

とは、これだけだ」(論者訳)

注

1 1860年の9月半ば、ディケンズは親友ジョン・フォースター(John Forster)に宛てた手紙の中で、「非常に良い、新しい、グロテスクなアイデアが浮かんだので、ちょっとしたエッセイはやめて、新しい本にこのアイデアをとっておいた方がよいか悩み始めた」(“such a fine, new, and grotesque idea has opened upon me, that I begin to doubt whether I had not better cancel the little paper, and reserve the notion for a new book”; 9: 310)と述べており、これが『大いなる遺産』のことだと考えられる。実際、同年10月4日のフォースター宛の手紙で、12月1日から『一年中』に先週から取りかかっている新作を掲載する予定だと告げ、「タイトルは『大いなる遺産』だ。いいタイトルだと思わないかね?」(The name is GREAT EXPECTATIONS. I think a good name?; 9: 320)と述べている。

2 結末についての議論は様々になされてきた。現代でこそ、新しいエンディングを評価する声も聞かれるが、当初は特にファーストエンディングを推す声が強かった。これはフォースターに依るところが大きい。彼は「ファーストエンディングは物語の趣旨だけでなく物語の自然な進行とより調和しているように思われる」(“the first ending … seems to be more consistent with the drift, as well as natural working out, of the tale”; *Life* 3: 336)と高く評価し、わざわざ『ディケンズ伝』の中にファーストエンディングを挿入している。

3 本小説は3部構成であり、章番号の記載法は複数存在するが、本稿では通しの章番号(1~59章)を使用する。

4 パロイシアンによれば、当時のミドルクラスの最高の年収が150ポンドから500ポンドであり、その階級に属する人々はおよそ90,000人いたとされる(292)。

5 その他の草稿からの単語の修正については、論文の最後に付したAppendixを参照のこと。

6 本稿で用いるディケンズ作品に関する数値データは、全てバーミンガム大学が作成したCLiCコンコーダンス(<https://clic.bham.ac.uk>)を使用して得られたものである。また、“appear”と関連する単語とは、“appear,” “appears,” “appeared,” “appearing”を指し、“disclose”と関連する単語とは、“disclose,” “discloses,” “disclosed,” “disclosing”を指す。

7 フィリップ・コリンズ(Philip Collins)は、『大いなる遺産』が舞台となった時代には、一生涯流刑者が帰国した際に死刑になる、という制度は事実上なくなっており、ディケンズはその点を失念しているか、あえて伏せていると述べている(281)。一方この指摘を踏まえつ

つ、ロビン・ギルモア(Robin Gilmour)は、この罪で最後に処刑がおこなわれたのは1810年だが、法的には1835年まで(つまりこの物語の舞台となる時代まで)死刑相当の罪であった、と主張している(442)。意図的であるにせよディケンズの失策であるにせよ、本作品の世界においては、流刑者の帰国は厳密に罪に問われるという共通認識が登場人物達にはあったと捉えるべきであろう。

参考文献

- CLiC, <https://clic.bham.ac.uk>.
Collins, Philip. *Dickens and Crime*. Macmillan, 1962.
Dickens, Charles. *Great Expectations*. Edited by Margaret Cardwell, Clarendon Press, 1993.
---. *The Letters of Charles Dickens*. Vol. 9, edited by Graham Storey, Clarendon Press, 1997.
---. *The Manuscript of Great Expectations: From the Townshend Collection, Wisbech*. Cambridge UP, 2011.
Forster, John. *The Life of Charles Dickens*. 3 vols. Chapman & Hall, 1874. (Abbr. *Life*)
Gilmour, Robin. “Notes.” *Great Expectations*, edited by Robin Gilmour. J.M. Dent, 1994, pp.435-44.
Paoissien, David. *The Companion to Great Expectations*. Helm Information, 2000.
石塚裕子(訳)『大いなる遺産』全2巻, 岩波文庫, 2014.
加賀山卓朗(訳)『大いなる遺産』全2巻, 新潮文庫, 2020.
佐々木徹(訳)『大いなる遺産』全2巻, 河出文庫, 2011.
田辺陽子(訳)『大いなる遺産』, 溪水社, 2011.

Appendix.『大いなる遺産』(Great Expectations)における草稿からの修正箇所について

以下に記すのは、チャールズ・ディケンズの小説『大いなる遺産』(Great Expectations)について、ディケンズが最初に文書の形で表した草稿と、雑誌への連載、あるいは本として実際に出版されたバージョンとの差異のうち、特に単語・表現を修正した箇所を列挙した物である。ディケンズは版を重ねるごとに作品に微修正を加えているが、ここで問題とするのはあくまで草稿からの修正であり、草稿以外のエディション間の修正は取り上げていない。また、草稿からの修正は膨大な数に上るため、今回取り上げるのは単語・表現が修正されている箇所にとどめている。例えば草稿段階と出版されたエディションで、特定箇所の単語が変わっている(例: gun が cannon に修正されている)、というような例は挙げているが、草稿と同じ単語に別の形容詞等を追加した(あるいは草稿の表現から単語を一部削った)というような事例は挙げていない。その他、コックニー綴りをより正確に表現するために、単語の綴りを修正した例も除いている。

同資料を作成するにあたり、底本としてマーガレット・コードウェル(Margaret Cardwell)編集のClarendon版を使用し、適宜エドガー・ローゼンバーク(Edgar Rosenberg)編集のNorton版を参照した。作品の章番号、ページ番号は前者によるものである。同一ページに複数の修正が見られるため、最初にページ番号を記載し、その後ろに各修正箇所を列記する形を取っている。「←」の前が出版された版、後ろが草稿の文章であり、当該箇所は太字体で記すとともに、出版された版には下線も付している。また重要と思われる修正箇所については、修正の次の行に補足説明を付けている。

Chapter 1.

(p.3)

・ My first **most vivid and broad** impression of the identity of things, seems to me ... ← My first **distinct** impression of the identity of things, seems to me ...

・ **Philip** Pirrip, ← Tobias Pirrip,

(p.4)

・ Alexander, Bartholomew, Abraham, **Tobias, and Roger**, ← Alexander, Bartholomew, Abraham, **George, and Robert**,

*ディケンズ作品では良くあることだが、草稿段階と比べて人物の名前が大きく変わっている点は興味深い。

・ “**Keep still**, you little devil, or I’ll cut your throat!”
← “**Hold your noise**, you little devil, or I’ll cut your throat!”

・ I saw the steeple under my **feet** ← I saw the steeple under my **legs**

(p.5)

・ “**Darn Me** if I couldn’t eat ‘em,” said the man ← **Damned** if I couldn’t eat ‘em,” said the man

Chapter 2.

(p.10)

・ the mysterious young man, the file, the **food**, and the dreadful pledge ← the mysterious young man, the file, the **victuals**, and the dreadful pledge

・ First, with her left hand she **jabbed** the loaf hard and fast against her bib ← First, with her left hand she **held** the loaf hard and fast against her bib

(p.11)

・ He **turned** it about in his mouth much longer than usual ← He **rolled** it about in his mouth much longer than usual

(p.12)

・ speaking in a confidential **voice**, as if we **two** were quite alone, ← speaking in a confidential **tone**, as if we were quite alone,

・ it’s mercy you **ain’t Bolted** dead ← it’s mercy you **ain’t choked** dead

(p.13)

・ the urgency of my case demanded a pint of **this** mixture ← the urgency of my case demanded a pint of **the** mixture

・ Joe … was made to **swallow** that ← Joe … was made to **take** that

・ as he sat slowly **munching** and meditating before the fire ← as he sat slowly **biting** and meditating before the fire

・ he certainly had **a turn** afterwards, if he had had none before ← he certainly had **one** afterwards, if he had had none before

・ keeping one hand on **my** bread-and-butter as I sat ← keeping one hand on **the** bread-and-butter as I sat

・ the man with the **load** on *his* leg ← the man with the **iron** on *his* leg

(p.14)

・ quite **unmanageable** ← quite **unconquerable**

・ “There was **a convict** off last night,” said Joe ← “There was **one** off last night,” said Joe

· “Drat that **boy**,” interposed my sister ← “Drat that **child**,” interposed my sister

(p.15)

· “I tell you what, young **fellow**,” said she, ← “I tell you what, young **man**,” said she,

Chapter 3.

(p.17)

· A boy with **Some-body-else’s** pork pie! ← A boy with a pork pike!

· and **steaming** out of their nostrils, ← and **smoking** out of their nostrils,

· fixed me so **obstinately** with his eyes, ← fixed me so **steadily** with his eyes

· that I **blubbered** out to him, ← that I **called** out to him,

· Joe, **sitting on an old gun, had** told me … ← Joe **had sitting on an old gun** told me …

(p.18)

· And yet **this man** was dressed in coarse grey, ← And yet **he** was dressed in coarse grey,

· he ran into the mist, **stumbling** twice as he went ← he ran into the mist, **tumbling** twice as he went

· I thought, **feeling my heart shoot as I** identified him. ← I thought, **I felt my heart shoot and I** identified him.

(p.19)

· He **shivered** all the while, ← He **shivering** all the while,

· “You’re not a **deceiving** imp? ← “You’re not a **false** imp?

(p.20)

· regarded me with the **keenest** scrutiny and the greatest surprise ← regarded me with the **closest** scrutiny and the greatest surprise

· I was very anxious to put **this** ← I was very anxious to put **it**

· Didn’t you hear the **cannon** last night? ← Didn’t you hear the **gun** last night?

(p.21)

· I see the mist shake with the cannon, **arter** it was broad day. ← I see the mist shake with the cannon, **when** it was broad day.

· I indicated in what **direction the mist** had shrouded the other man ← I indicated in what **direction. The**

mist had shrouded the other man

Chapter 4.

(p.22)

· Not a doubt of **that**, I thought. ← Not a doubt of **it**, I thought.

(p.23)

· I an’t a going to have no **formal cramming and busting** and washing up now, ← I an’t a going to have no **cramming and gorging** and washing up now,

· the tailor had orders to **make** them like a kind of Reformatory, ← the tailor had orders to **construct** them like a kind of Reformatory,

(p.24)

· propose a private **conference** in the vestry. ← propose a private **audience** in the vestry.

(p.25)

· I remember Mrs. Hubble as a little **curly sharp-edged person in sky-blue**, who held … ← I remember Mrs. Hubble as a little **sharp-edged, curly person in sky-blue**, who held …

(p.26)

· But he always aided and **comforted me** when he could ← But he always aided and **abetted me** when he could

(p.27)

· I knew he was going to **lug** me in, ← I knew he was going to **bring** me in,

· The gluttony of Swine is **put** before us, ← The gluttony of Swine is **set** before us,

(p.28)

· as I felt **painfully** conscious ← as I felt **deeply** conscious

(p.29)

· Mrs. Joe and Joe were **briskly** clearing the table for the pie and pudding. ← Mrs. Joe and Joe were **busily** clearing the table for the pie and pudding.

· violently **plunging** and expectorating ← violently **stamping** and expectorating

· by the vigour of my unseen **hold** upon it ← by the vigour of my unseen **grasp** upon it

· “Why, how ever could **Tar** come there?” ← “Why,

how ever could **it** come there?"

· I still held **on** the leg of the table, ← I still held **on to** the leg of the table,

(p.30)

· whether I uttered a shrill **yell** of terror, ← whether I uttered a shrill **cry** of terror,

Chapter 5.

(p.31)

· The apparition of a file of soldiers ringing down the **butt-ends** of their loaded muskets on our door-step, ← The apparition of a file of soldiers ringing down the **butt end** of their loaded muskets on our door-step,

· to stop short and stare, **in her** wondering lament of ... ← to stop short and stare, **after her first** wondering lament of ...

· I **partially** recovered the use of my senses ← I **partly** recovered the use of my senses

· I am on a chase **in the name of** the King, ← I am on a chase **for** the King,

(p.32)

· I was in **an agony of apprehension**. ← I was in **mortal terror**.

· How far might you call yourselves from the marshes, **hereabouts?** ← How far might you call yourselves from the marshes, **here?**

· **One** of the soldiers opened its wooden windows, ← **Two** of the soldiers opened its wooden windows,

(p.33)

· but even made my sister **liberal**. ← but even made my sister **generous**.

· seemed quite ready for **another glass**. ← seemed quite ready for **more**.

· while they all stood **clustering** about the forge, ← while they all stood **clustered** about the forge,

(p.34)

· when they were all in lively **anticipation** of "**the two** villains" being taken ← when they were all in lively **expectation** of "**those two** villains" being taken

* expectation を anticipation に変更している、というのは、作品の表題と併せて考えると興味深い修正のようにも思える。

· when the bellows seemed to roar for **the fugitives**, ← when the bellows seemed to roar for **them**,

· the smoke to hurry **away** in pursuit of them, ← the

smoke to hurry **out** in pursuit of them,

· all the murky shadows on the wall to **shake** at them in menace ← all the murky shadows on the wall to **wave** at them in menace

· "If you bring the boy back with his head blown **to bits** by a musket, **don't look to me to put it together again**." ← "If you bring the boy back with his head blown **off** by a musket, **don't say it was my doing**."

* 冗談めかした言い方をしているが、死に方がより具体的に描かれる事により、作品の序盤に満ちた死のイメージがより高められていると言える。

· as when something **moist** was going. ← as when something **to drink** was going.

· "**I hope, Joe**, we shan't find them." ← "**Joe I hope** we shan't find them."

· We were joined by no stragglers from **the village**. ← We were joined by no stragglers from **our village**,

· the way dreary, the footing bad, **darkness** coming on, ← the way dreary, the footing bad, **dusk** coming on,

(p.35)

· charging at the ditches **like a hunter**, ← charging at the ditches **in the nimblest manner**,

· the wind had **dispelled** it. ← the wind had **moved** it.

(p.36)

· the shudder of the **dying day in every blade of grass**, ← the shudder of the **whole dying day**,

· there was no break in the **bleak** stillness of the marshes. ← there was no break in the **uniform** stillness of the marshes.

· there seemed to be **two or more** shouts raised together ← there seemed to be **two** shouts raised together

· So we **slanted** to the right ← So we **started** to the right

· in the only two words he spoke all the time, "**a Winder**." ← in the only two words he spoke all the time, "**a buster**."

(p.37)

· mud was **flying** ← mud was **splashing**

· when **some** more men went down into the ditch ← when **half a dozen** more men went down into the ditch

· my convict, wiping blood **from** his face with his ragged sleeves, ← my convict, wiping blood **away from** his face with his ragged sleeves,

· said my convict, with a **greedy** laugh. ← said my convict, with a **terrible** laugh.

(p.38)

- Let *him* make **a tool** of me afresh and again? ← Let *him* make **use** of me afresh and again?
- he made an emphatic **swing** at the ditch with ... ← he made an emphatic **motion** at the ditch with ...
- who was evidently in extreme **horror** of his companion, ← who was evidently in extreme **fear** of his companion,
- Do you see **those** grovelling and wandering eyes? ← Do you see **them** grovelling and wandering eyes?

(p.39)

- Before we departed from that spot, **four** soldiers standing in a ring, ← Before we departed from that spot, **four of the** soldiers standing in a ring,
- we saw other torches **kindled** at some distance behind us, ← we saw other torches **lighted** at some distance behind us,
- with a miniature windmill on it and a **muddy** sluice-gate. ← with a miniature windmill on it and a **slimy** sluice-gate.
- I could see the other lights coming **in** after us. ← I could see the other lights coming **on** after us.
- the two **prisoners** seemed **rather to like that**, as they limped along ... ← the two **wretched men** seemed **to like that rather**, as they limped along ...

(p.40)

- like an **overgrown** mangle without the machinery, ← like an **immense** mangle without the machinery,
- “I **know**, but this is another pint, a separate **matter**.” ← “I **know that**, but this is another pint, a separate **pint**.”
- “**And** I’ll tell you where from. ← “**Ah!** I’ll tell you where from.

(p.41)

- “**My wife** did, at the very moment when you came in. ← “**Mrs. Joe** did, at the very moment when you came in.
- “**So**,” said my convict, **turning his eyes on** Joe in a moody manner, ← “**Oh!**” said my convict, **to** Joe in a moody manner,
- somebody **in the boat growled** as if to dogs, ← somebody **called** as if to dogs,
- Cribbed and barred and **moored** by massive rusty chains, ← Cribbed and barred and **anchored** by massive rusty chains,
- the prison-ship **seemed in my young eyes to be**

ironed like the prisoners. ← the prison-ship **was** ironed like the prisoners.

Chapter 6.

(p.42)

- I had had no intercourse with **the world** at that time, ← I had had no intercourse with **people** at that time,
- I imitated none of **its many inhabitants** who act in this manner. ← I imitated none of **the uncountable host of people** who act in this manner.

(p.43)

- I seemed to have **fifty** boots on ← I seemed to have **twenty** boots on
- *微妙な違いではあるが、こういった数字の修正も興味深い。

Chapter 7.

(p.44)

- Neither, were my notions of the theological positions to which my Catechism bound me, at all **accurate**; ← Neither, were my notions of the theological positions to which my Catechism bound me, at all **distinct**;
- **In order, however**, that our superior position might not be compromised thereby, ← **but in order** that our superior position might not be compromised thereby,
- she was **a ridiculous old** woman of limited means ← she was **an ancient** woman of limited means
- who paid **twopence** per week each, ← who paid **three pence** per week each,

(p.45)

- wherein I particularly venerated Mr. Wopsle as **Revenge, throwing his blood-stain’d sword in thunder down, and taking the War denouncing trumpet with a withering look**. ← wherein I particularly venerated Mr. Wopsle as **Fear, whistling to keep his courage up**.

(p.47)

- “**Tho’** I’m oncommon fond of reading, too.” ← “**But** I’m oncommon fond of reading, too.”
- It **were** a’most the only hammering he did, ← It **was** a’most the only hammering he did,

(p.48)

- my father **were** that good in his hart, don’t you see? ← my father **was** that good in his hart, don’t you see?
- “Consequently, **my father** didn’t make objections to my going to work; so I went to work at my present

calling, which **were** his too, if he would have followed it, and I worked tolerable hard, I assure *you*, Pip. In time I **were** able to keep him, and I kep him till he went off in a purple leptic fit. And it were my intentions to have had put upon his tombstone that Whatsume'er the failings on his part, Remember reader he **were** that good in his hart." ← "Consequently, **he** didn't make objections to my going to work; so I went to work at my present calling, which **was** his too, if he would have followed it, and I worked tolerable hard, I assure *you*, Pip. In time I **was** able to keep him, and I kep him till he went off in a purple leptic fit. And it were my intentions to have had put upon his tombstone that **Whatsoe'er** the failings on his part, Remember reader he **was** that good in his hart."

· hardly believed it **were** my own ed. ← hardly believed it **was** my own ed.

· all the money that could be spared **were** wanted for my mother ← all the money that could be spared **was** wanted for my mother

(p.49)

· When I got acquainted with your sister, it **were** the talk how she was bringing you up by hand. ← When I got acquainted with your sister, it **was** the talk how she was bringing you up by hand.

· "if you could have **been aware** how small and flabby and mean you was, ← "if you could have **seen** how small and flabby and mean you was,

· that Joe had **divorced her in favour of** the Lords of the Admiralty, or Treasury. ← that Joe had **obtained a divorce, and settled her on** the Lords of the Admiralty, or Treasury.

(p.50)

· I don't deny that she do throw us **back-falls, and that** she do drop down upon us heavy. ← I don't deny that she do throw us **falls, when** she do drop down upon us heavy.

· I had no hope of him **whenever** he took to that placid occupation; ← I had no hope of him **when** he took to that placid occupation;

· "What's that?" I **asked**, in some hope of bringing him to a stand. ← "What's that?" I **could not help asking**, in some hope of bringing him to a stand.

(p.51)

· working himself up to being equal to **strike** Eight of 'em, ← working himself up to being equal to **striking**

Eight of 'em,

· and **Mrs. Joe** was out on one of these expeditions. ← and **she** was out on one of these expeditions.

· Joe made the fire and **swept** the hearth, ← Joe made the fire and **swept up** the hearth,

· then we went **to the door** to listen for the chaise-cart. ← then we went **out** to listen for the chaise-cart.

· see no help or pity in **all the glittering multitude**. ← see no help or pity in **the whole host**.

· The sound of her **iron** shoes upon the hard road was quite musical, **as** she came along at a much brisker trot than usual. ← The sound of her shoes upon the hard road was quite musical, **and** she came along at a much brisker trot than usual.

(p.52)

· "Well?" said my sister, in her **snappish** way. "**What are you staring at?** Is the house a-fire?" ← "Well?" said my sister, in her **short** way. "Is the house a-fire?"

(p.53)

· "I wonder how she **come** to know Pip!" ← "I wonder how she **came** to know Pip!"

· Uncle Pumblechook, being **always** considerate and thoughtful for us, ← Uncle Pumblechook, being **ever** considerate and thoughtful for us,

· drew the back of his hand **across and across** his nose, ← drew the back of his hand **over and over** his nose,

(p.54)

· my face was **squeezed** into wooden bowls in sinks, ← my face was **put** into wooden bowls in sinks,

· I may here remark that I **suppose** myself to be ... ← I may here remark that I **conceive** myself to be ...

· and **who** let off upon me the speech **that** I knew he had been dying to make all along: ← and let off upon me the speech **which** I knew he had been dying to make all along:

· but especially **unto** them which brought you up by hand!?" ← but especially **to** them which brought you up by hand!?"

· "**Good by**, Joe!" ← "**God bless you**, Joe!"

· and **what with my feelings and what with** soap-suds, I could at first see ... ← and **between my feelings and** soap-suds, I could at first see ...

Chapter 8.

* 草稿ではこの章から章番号にズレが生じている。

(p.55)

· whether the flower-seeds and bulbs ever wanted **of** a fine day to break out of those jails, ← whether the flower-seeds and bulbs ever wanted **on** a fine day to break out of those jails,
· penitential character **ought to** be imparted to my diet ← penitential character **must** be imparted to my diet
· his conversation consisted **of nothing but** arithmetic.
← his conversation consisted **entirely of** arithmetic.

(p.56)

· **Some** of the windows had been walled **up**; ← **Many** of the windows had been walled **up altogether**;

(p.58)

· It was not in the first **moments** that I saw all these things, ← It was not in the first **minute** that I saw all these things,

(p.59)

· I saw more of them in the first **moments** than might be supposed. ← I saw more of them in the first **minute** than might be supposed.

(p.60)

· and very sorry I can't play **just now**. ← and very sorry I can't play at **present**.

(p.61)

· **So** she sat, corpse-like, as we played at cards; ← **There** she sat, corpse-like, as we played at cards;

(p.62)

· she denounced me for a stupid, clumsy **labouring-boy**. ← she denounced me for a stupid, clumsy **boy**.
*単なる boy から labouring-boy という表現に修正することで、ピップがエステラに植え付けられた階級意識が強調されている。
· **Saving** for the one weird smile at first, I should have felt almost sure that ... ← **But** for the one weird smile at first, I should have felt almost sure that ...
· it looked as if nothing could ever lift it up **again**. ← it looked as if nothing could ever lift it up **any more**.
· so that she spoke low, and with a **dead** lull upon her; ← so that she spoke low, and with a **curious sort of dead** lull upon her;

(p.63)

· Come again after **six** days. You hear?" ← Come again after **three** days. You hear?"
*ミス・ハヴィシヤムの家に行く頻度が変わっている。
· **This** gave me power to **keep** them back and to look at her: ← **That** gave me power to **force** them back and to look at her:

(p.64)

· **there** is nothing so finely perceived and so **finely** felt, as injustice. ← **I am convinced there** is nothing so finely perceived and so **strongly** felt, as injustice.
· I remember **those** recluses as being like most others. ← I remember **these** recluses as being like most others.

(p.65)

· She had her back **towards** me, and ... ← She had her back **to** me, and ...
· I turned my eyes—**a little dimmed** by looking up at the frosty light ← I turned my eyes—**no doubt a little dazed** by looking up at the frosty light
· the face was Miss Havisham's, **with** a movement going over the whole countenance as if she were trying to call to me. ← the face was Miss Havisham's, **with the eyes open, and** a movement going over the whole countenance as if she were trying to call to me.

(p.66)

· that I was much more ignorant than I had considered myself last night, and **generally** that I was in a **low-lived** bad way. ← that I was much more ignorant than I had considered myself last night, and **on the whole** that I was in a **low** bad way.

Chapter 9.

(p.70)

· and should have hazarded the statement but for my **invention** being divided between that phenomenon and a bear in the brewery ← and should have hazarded the statement but for my **mind** being divided between that phenomenon and a bear in the brewery
· when I saw Joe open his blue eyes and roll them all round the kitchen in helpless **amazement**, ← when I saw Joe open his blue eyes and roll them all round the kitchen in helpless **astonishment**,
· and by that means **vanquished** it. ← and by that means **got the better of** it
· If you can't get to **be** uncommon through going

straight, ← If you can't get to **the** uncommon through going straight,

· I meantersay of a stunning and **outdacious** sort ← I meantersay of a stunning and **thundering** sort

Chapter 10.

(p.75)

· lending me, to copy at home, a **large** old English D which she had imitated from ... ← lending me, to copy at home, a **German text or** old English D which she had imitated from ...

(p.76)

· Do you find any gipsies, now, or tramps, or vagrants of any sort, out **there?**" ← Do you find any gipsies, now, or tramps, or vagrants of any sort, out **on those low lands?**"

(p.77)

· Having his hand in, Mr. Wopsle **finished off with** a most terrifically snarling passage from Richard the Third, ← Having his hand in, Mr. Wopsle **introduced** a most terrifically snarling passage from Richard the Third,

(p.78)

· some large-handed person took **some such** ophthalmic steps to patronize me. ← some large-handed person took **these** ophthalmic steps to patronize me.

· and a most extraordinary **shot** it was ← and a most extraordinary **one** it was

· not with **a spoon** that was brought to him, but *with a file* ← not with **the spoon** that was brought to him, but *with a file*

Chapter 11.

(p.81)

· Cousin **Raymond** ← Cousin **John**

* 同ページ内でこの人物への言及が3度あるが、いずれも同様の変更がなされている

· 'Good Lord!' **says** he, ← 'Good Lord!' **said** he,

· he never will have, **any** sense of the proprieties. ← he never will have, **the least** sense of the proprieties.

(p.82)

· Thank Goodness it will always be a consolation to me to **know** that ... ← Thank Goodness it will always be a consolation to me to **remember** that ...

· I instantly went out in a pouring rain and bought the **things**. ← I instantly went out in a pouring rain and bought the **mourning**.

· "*He* paid for **them** did he not?" asked Estella. ← "*He* paid for **it** did he not?" asked Estella.

(p.83)

· said he, **biting the side of his great forefinger as he frowned at me**, ← said he, **threatening me with his great forefinger**,

· With **those** words, he released me—which I was glad of, ← With **these** words, he released me—which I was glad of,

(p.84)

· until Miss Havisham cast her eyes upon me from **the dressing-table**. ← until Miss Havisham cast her eyes upon me from **her dressing-table**.

(p.85)

· "that, where **those** cobwebs are?" ← "that, where **the** cobwebs are?"

(p.89)

· kissing her hand to Miss Havisham, was escorted **out**. ← kissing her hand to Miss Havisham, was escorted **forth**.

· I even had an alarming fancy that Estella and I **might** presently begin to decay. ← I even had an alarming fancy that Estella and I **would** presently begin to decay.

(p.90)

· which seemed in their decline to have produced a spontaneous growth of **weak** attempts at pieces of old hats and boots, ← which seemed in their decline to have produced a spontaneous growth of **feeble** attempts at pieces of old hats and boots,

(p.91)

· he instantly slapped his hands against one another ... dipped his head, and **butted** it into my stomach. ← he instantly slapped his hands against one another ... dipped his head, and **ran** it into my stomach.

· was particularly disagreeable just after **bread and meat** ← was particularly disagreeable just after **lunch**.

(p.92)

· For the rest, he was a young gentleman in a **grey**

suit ← For the rest, he was a young gentleman in a **sky-blue** suit

· His spirit **inspired me with great respect**. ← His spirit **was extraordinary**.

· and then **came** at me with an air and a show ← and then **would dance** at me with an air and a show

· he got up and **turned** round and round confusedly a few times, ← he got up and **went** round and round confusedly a few times,

Chapter 12.

(p.94)

· Whether suborned boys … might be engaged to fall upon me in the brewery, and **cuff me** until I was no more? ← Whether suborned boys … might be engaged to fall upon me in the brewery, and **knock me about** until I was no more?

(p.95)

· because I am now going to sum up a period of at least **eight or ten** months ← because I am now going to sum up a period of at least **six or eight** months

* 本作は全体に、こういった時間（期間）を表す数字の修正が目につく。

· asked me such **questions** as what had I learnt and what was I going to be? ← asked me such **question** as what had I learnt and what was I going to be?

· on the contrary, she seemed to **prefer** my being ignorant. ← on the contrary, she seemed to **like** my being ignorant.

(p.96)

· It happened so to **catch** her fancy that … ← It happened so to **strike** her fancy that …

· How could my **character** fail to be influenced by them? ← How could my **temperament** fail to be influenced by them?

· and he would **drag** me up from my stool ← and he would **take** me up from my stool

(p.97)

· where I was quiet in a corner, and, **putting** me before the fire as if I **were** going to be cooked, would begin by saying … ← where I was quiet in a corner, and, **standing** me before the fire as if I **was** going to be cooked, would begin by saying …

(p.98)

· then she asked Joe why he hadn't married a **Negress**

Slave at once? ← then she asked Joe why he hadn't married a **Negro** Slave at once?

Chapter 13.

(p.101)

· Joe, even at **this** pass, persisted in addressing me. ← Joe, even at **that** pass, persisted in addressing me.

(p.102)

· These words had such a round and convincing sound **for** him that he said them twice. ← These words had such a round and convincing sound **to** him that he said them twice.

· Thus calling him back as I went out **of** the door, ← Thus calling him back as I went out **at** the door,

· I know that when he did get out he was **steadily** proceeding up-stairs ← I know that when he did get out he was **insanely** proceeding up-stairs

· and was deaf to all **remonstrances** until I went after him ← and was deaf to all **remonstrance** until I went after him

· my sister sat in conference with **that** detested seedsman ← my sister sat in conference with **the** detested seedsman

(p.104)

· with a woodcut of a malevolent young man **fitted up with** a perfect sausage-shop of fetters ← with a woodcut of a malevolent young man **in** a perfect sausage-shop of fetters

(p.105)

· portraits on the walls, which my unartistic eye **regarded as** a composition of hardbake and sticking-plaister ← portraits on the walls, which my unartistic eye **supposed to be** a composition of hardbake and sticking-plaister

· as if we had looked in on **our** way to the scaffold, ← as if we had looked in on **the** way to the scaffold,

· in short, **whenever** they had nothing else to do—why I didn't enjoy myself. ← in short, **when** they had nothing else to do—why I didn't enjoy myself.

(p.106)

· when I got into my little bedroom I was truly **wretched**, and … ← when I got into my little bedroom I was truly **miserable**, and …

Chapter 14.

(p.107)

- in my later life (I suppose as in **most** lives) ← in my later life (I suppose as in **many** lives)
- I am glad to know that I never **breathed** a murmur to Joe ← I am glad to know that I never **uttered** a murmur to Joe

Chapter 15.

(p.109)

- whenever the light struck aslant, **afar** off, upon a cloud or sail or green hill-side or water-line, ← whenever the light struck aslant, **far** off, upon a cloud or sail or green hill-side or water-line

(p.110)

- But in regard **of** visiting Miss Havisham. ← But in regard **to** visiting Miss Havisham.

(p.111)

- as we are rather slack just now, if you **would** give me a half-holiday tomorrow, ← as we are rather slack just now, if you **could** give me a half-holiday tomorrow,

(p.112)

- **howbeit**, he liked me still less. ← **but**, he liked me still less.
- for he and Joe had just got a **piece** of hot iron between them, ← for he and Joe had just got a **bar** of hot iron between them,

(p.114)

- with a clap of her hands and a scream together—which was **her** next stage. ← with a clap of her hands and a scream together—which was **the** next stage.
- What could the **wretched** Joe do now, after his … ← What could the **unfortunate** Joe do now, after his …

(p.115)

- The lull had a sedative and **philosophical** influence on Joe, ← The lull had a sedative and **philosophic** influence on Joe,

(p.116)

- but I know very well that it took until **half-past** nine o'clock that night, ← but I know very well that it took until **past** nine o'clock that night,
- Pumblechook's indignant **stare** so taxed me with it. ← Pumblechook's indignant **glare** so taxed me with it.

- it became sheer monomania in **my master's daughter** to care a button for me; ← it became sheer monomania in **Maria** to care a button for me;
- and when I set **out** with Mr. Wopsle on the walk home. ← and when I set **forth** with Mr. Wopsle on the walk home.

(p.118)

- Mr. Wopsle, as the ill-requited uncle of the evening's **tragedy**, fell to meditating aloud in his garden ← Mr. Wopsle, as the ill-requited uncle of the evening's **story**, fell to meditating aloud in his garden
- unwonted lights that had been hastily caught up and put down, scattered **about**. ← unwonted lights that had been hastily caught up and put down, scattered **here and there**.

(p.119)

- "I can't **quite understand**. ← "I can't **make out**.

Chapter 16.

(p.119)

- he got into **dense** confusion when he tried to be ← he got into **the densest** confusion when he tried to be

(p.121)

- having led up to **so much** mischief, it would be now more likely than ever to … ← having led up to **this** mischief, it would be now more likely than ever to …

(p.122)

- We were at a loss to find a suitable attendant for her, **until** a circumstance happened conveniently to relieve us. ← We were at a loss to find a suitable attendant for her, **when** a circumstance happened conveniently to relieve us.
- while attending on her **of an evening**, to turn to me every now and then and say … ← while attending on her **all the evening**, to turn to me every now and then and say …

Chapter 17.

(p.124)

- writing some passages **from** a book, to improve myself in two ways at once by … ← writing some passages **out of** a book, to improve myself in two ways at once by …

(p.126)

・ it was a good time and place for the admission of Bidly into my **inner** confidence ← it was a good time and place for the admission of Bidly into my **most secret** confidence

* ピップの密かな思い、という意味合いを出したかったのであろうが、草稿に見られる“most secret”という表現は文学的とは言えず、修正は必然だっただろう。

(p.127)

・ don't you think you **are** happier as you are?" ← don't you think you **would be** happier as you are?"

・ "Bidly," I **exclaimed**, impatiently, "I am not at all happy as I am." ← "Bidly," I **explained**, impatiently, "I am not at all happy as I am."

* "impatiently" という副詞と、ピップの抱える思いの強さを考えると、「説明した」のではなく、「叫んだ」とした修正は頷ける。

(p.128)

・ Having made **this** lunatic confession, I began to ... ← Having made **which** lunatic confession, I began to ...

(p.129)

・ If your first teacher ... had been your teacher **at the present time**, she thinks she knows ... ← If your first teacher ... had been your teacher **just at present**, she thinks she knows ...

・ "Bidly," I cried, **getting** up, putting my arm round her neck, and giving her a kiss, ← "Bidly," I cried, **jumping** up, putting my arm round her neck, and giving her a kiss,

(p.130)

・ that I did not like her **much** the better of the two? ← that I did not like her **far** the better of the two?

(p.131)

・ but he dances at me, **whenever** he can catch my eye." ← but he dances at me, **when** he can catch my eye."

・ "Nor I **neither**," said Bidly. ← "Nor I **either**," said Bidly.

Chapter 18.

(p.132)

・ "Well!" said **the stranger** to Mr. Wopsle, when the reading was done, ← "Well!" said **this stranger** to Mr. Wopsle, when the reading was done,

(p.134)

・ "Now, follow that passage with your **eye**, and tell me whether it distinctly states that the prisoner expressly said that ... ← "Now, follow that passage with your **eyes**, and tell me whether it distinctly states that the prisoner expressly said that ...

(p.136)

・ "Lord forbidding is pious, but not **to the purpose**," returned Mr. Jaggars. ← "Lord forbidding is pious, but not **the question**," returned Mr. Jaggars.

(p.137)

・ If you have **a suspicion** in your own breast, keep that suspicion in your own breast. ← If you have **any suspicion** in your own breast, keep that suspicion in your own breast.

(p.138)

・ The condition is **laid down**. ← The condition is **made**.

(p.139)

・ "No, my young friend!" he interrupted, shaking his great head very **slowly**. ← "No, my young friend!" he interrupted, shaking his great head very **knowingly**.

(p.140)

・ If you mean to take a present that I have it in **charge** to make you, speak out, and ... ← If you mean to take a present that I have it in **trust** to make you, speak out, and ...

(p.142)

・ I observed, and in the mean while nothing was to be said, **save** that I had come into great expectations ← I observed, and in the mean while nothing was to be said, **but** that I had come into great expectations

(p.143)

・ "Yes, Pip," observed Joe, whose voice **sounded** hollow in his beer mug. ← "Yes, Pip," observed Joe, whose voice **was** hollow in his beer mug.

Chapter 19.

(p.145)

・ what were my **thoughts** on this Sunday, when the place recalled the wretch ← what were my **feelings** on this Sunday, when the place recalled the wretch

・ though they seemed, in their dull **manner**, to wear a more respectful air now, ← though they seemed, in

their dull **way**, to wear a more respectful air now,

(p.148)

· **Yet** a gentleman should not be unjust neithter,” said Bidly ← **But** a gentleman should not be unjust neithter,” said Bidly

(p.149)

· He … wiped his his fingers on the tablecloth, exclaiming, “**Lord** bless my soull” ← He … wiped his his fingers on the tablecloth, exclaiming, “**God** bless my soull”

· … said Mr. Trabb, with **the greatest** sternness, ← … said Mr. Trabb, with **exceeding** sternness,

· Do me the favour to **be seated**, sir. ← Do me the favour to **take a seat**, sir.

· **foreseeing** the danger of that miscreant’s brushing me with it, ← **evidently appreciating** the danger of that miscreant’s brushing me with it,

(p.151)

· Mr. Pumblechook … communicated a movement to his waistcoat, **which** had an emotional appearance, ← Mr. Pumblechook … communicated a movement to his waistcoat, **that** had an emotional appearance,

(p.152)

· … said Mr. Pumblechook, **apostrophising** the fowl in the dish, ← … said Mr. Pumblechook, **shaking his head** at the fowl in the dish,

· I saw he was **about** to come at me again, and I stopped him. ← I saw he was **going** to come at me again, and I stopped him.

(p.155)

· Miss Havisham was … leaning on her **crutch** stick. ← Miss Havisham was … leaning on her **crutched** stick.

· I **was** exceedingly careful what I said, ← I **explained** exceedingly careful what I said,

· “And I am so **grateful** for it, Miss Havisham!” ← “And I am so **thankful** for it, Miss Havisham!”

(p.156)

· Be good—deserve it—and **remember** Mr. Jaggers’s instructions. ← · Be good—deserve it—and **abide by** Mr. Jaggers’s instructions.

· She looked Sarah Pocket …, with both her hands on her **crutch** stick ← She looked Sarah Pocket …, with

both her hands on her **crutched** stick

(p.157)

· I wanted the **resolution** to go down stairs. ← I wanted the **heart** to go down stairs.

* 何気ない修正ではあるが、「ハートが欲しい」という草稿の表現は、慣用的な用法ではあるが、「ハートがない」というミス・ハヴィシヤムやエステラを連想させるという点で興味深い。

(p.158)

· Bidly **put** her apron to her face. ← Bidly **had** her apron to her face.

· I whistled and made nothing of **going**. ← I whistled and made nothing of **it**.

· Heaven knows we need never be ashamed of **our** tears, for … ← Heaven knows we need never be ashamed of **shedding** tears, for …

· they are rain upon the blinding dust of earth, **overlaying** our hard hearts. ← they are rain upon the blinding dust of earth, **overlying** our hard hearts.

· We changed, and I had not made up my mind, and still **reflected** for my comfort that … ← We changed, and I had not made up my mind, and still **considered** for my comfort that …

· And the mists had all solemnly risen now, and the world **lay spread** before me. ← And the mists had all solemnly risen now, and the world **was** before me.

Chapter 20.

(p.161)

· We Britons had at that time particularly settled that it **was** treasonable to doubt our having and our being … ← We Britons had at that time particularly settled that it **is** treasonable to doubt our having and our being …

· I might have some faint doubts whether it was not rather ugly, crooked, narrow, and **dirty**. ← I might have some faint doubts whether it was not rather ugly, crooked, narrow, and **smoky**.

· I had **scarcely** had time to enjoy the coach and to think how like a straw-yard it was, ← I had **hardly** had time to enjoy the coach and to think how like a straw-yard it was,

(p.162)

· as if we were going to stop **presently** ← as if we were going to stop **soon**

· “A shilling—unless you **wish** to make it more.” ← “A

shilling—unless you **wished** to make it more.”

・ He darkly closed **an eye** at Mr. Jagger’s name, and shook his head. ← He darkly closed **his eye** at Mr. Jagger’s name, and shook his head.

・ With **those** words, the clerk opened a door, and ushered me into an inner chamber at the back. ← With **these** words, the clerk opened a door, and ushered me into an inner chamber at the back.

・ … and **tossing** his fur cap out after him, left me alone ← … and **throwing** his fur cap out after him, left me alone

(p.163)

・ I … became fascinated by the dismal **atmosphere** of the place. ← I … became fascinated by the dismal **spell** of the place.

・ … whether they all claimed to have the same **detrimental** mastery of their fellow-creatures ← … whether they all claimed to have the same **disparaging** mastery of their fellow-creatures

(p.164)

・ “Jagger **would** do it if it was to be done.” ← “Jagger **could** do it if it was to be done.”

(p.165)

・ the other comforted her by saying, as she **pulled** her own shawl over her shoulders, ← the other comforted her by saying, as she **jerked** her own shawl over her shoulders,

(p.166)

・ “I don’t know this **man!**” said Mr. Jagger, in the same devastating strain. ← “I don’t know this **fellow!**” said Mr. Jagger, in the same devastating strain.

(p.167)

・ “after a deal o’ trouble, **I’ve** found one, sir, as might do.” ← “after a deal o’ trouble, I found one, sir, as might do.”

・ “Now, I ask you, you blundering **booby,**” said my guardian, very sternly, ← “Now, I ask you, you blundering **villain,**” said my guardian, very sternly,

(p.169)

・ After I had pondered a little over this encouraging **sentiment,** I asked Mr. Jagger if … ← After I had pondered a little over this encouraging **remark,** I asked Mr. Jagger if …

Chapter 21.

(p.170)

・ But there are plenty of people **anywhere,** who’ll do that for you. ← But there are plenty of people **everywhere,** who’ll do that for you.

・ “**Oh!** I don’t know about bad blood,” returned Mr. Wemmick; ← “**Well,** I don’t know about bad blood,” returned Mr. Wemmick;

・ “Yes,” said he, nodding in the direction. “At **Hammersmith, west** of London.” ← “Yes,” said he, nodding in the direction. “At **Hornsey, north** of London.”

*ディケンズは本作を出版するにあたり、草稿から数々の修正を行っているが、ポケット氏の住所の変更は、その中でもかなり大きなものと言える。

(p.171)

・ I had supposed that establishment to be an hotel kept by **Mr.** Barnard, ← I had supposed that establishment to be an hotel kept by **one** Barnard,

・ Whereas I now found Barnard to be a **disembodied spirit, or a fiction,** and … ← Whereas I now found Barnard to be a **ghost,** and …

・ the vengeance of the soul of Barnard were being slowly **appeased** by the gradual suicide of the present occupants ← the vengeance of the soul of Barnard were being slowly **glutted** by the gradual suicide of the present occupants

・ Thus far **my** sense of sight; while dry rot and wet rot and … ← Thus far **the** sense of sight; while dry rot and wet rot and …

(p.172)

・ there was a label **on** the letter-box ← there was a label **in** the letter-box

・ “we shall **most likely** meet pretty often. Good day.” ← “we shall **probably** meet pretty often. Good day.”

(p.173)

・ I knew there was a coach from **your** part of the country at mid-day, ← I knew there was a coach from **that** part of the country at mid-day,

・ But still I felt as if my eyes **must start** out of my head, and … ← But still I felt as if my eyes **were starting** out of my head, and …

・ I am sure I shall be very happy to show **London to** you. ← I am sure I shall be very happy to show **it** you.

(p.174)

· if you should want anything, I'll go **and fetch** it. ← if you should want anything, I'll go **for** it.

Chapter 22.

(p.175)

· for my conviction on that point was **perfectly** established. ← for my conviction on that point was **already** established.

(p.176)

· My father is Miss Havisham's **cousin**; not that that implies familiar intercourse between them, ← My father is Miss Havisham's **nephew**; not that that implies familiar intercourse between them,

* ポケット氏がミス・ハヴィシャムの甥か、いとこかという点は大きな違いであり、住所と併せて重大な変更と言える。

· a natural incapacity to do anything secret **and** mean
← a natural incapacity to do anything secret **or** mean
· but I **am** conscious that he carried off his rather old clothes, ← but I **was** conscious that he carried off his rather old clothes,

(p.177)

· "I shouldn't mind anything that you **propose**," I answered, ← "I shouldn't mind anything that you **proposed**," I answered,

(p.179)

· Her half-brother had now ample means again, **but** what with debts and what with ... ← Her half-brother had now ample means again, **and** what with debts and what with ...

(p.180)

· "but she charged him, **in the presence of** her intended husband, ← "but she charged him, **before** her intended husband,
· What was in it ... **I can't tell you, because I don't know**. ← What was in it ... **no one knows**.

(p.181)

· "Mind! I don't know **that**." ← "Mind! I don't know **it**."
· So there can be no competition or perplexity between **you and me**. ← So there can be no competition or perplexity between **us**.
· He replied, "**A capitalist—an Insurer of Ships**." ← He replied, "**merchants**."

* 以下、同様の修正が繰り返されており、ハーバートの職業についても当初の計画を変更した事が窺える。

· I suppose he saw me glancing about the room in search of **some tokens of Shipping, or capital**. ← I suppose he saw me glancing about the room in search of **merchandise**,

· I had grand ideas of the wealth and importance of **Insurers of Ships** in the City, ← I had grand ideas of the wealth and importance of **merchants** in the City,

(p.182)

· I began to think with awe, of having laid a young **Insurer** on his back, ← I began to think with awe, of having laid a young **merchant** on his back,

· blackened his enterprising eye, and cut his **responsible** head open. ← blackened his enterprising eye, and cut his **commercial** head open.

· I asked him where **the ships he insured** mostly traded to at present? ← I asked him where **he** mostly traded to at present?

(p.183)

· It was evident that he had nothing around him but the **simplest** necessaries, ← It was evident that he had nothing around him but the **barest** necessaries,

(p.184)

· It appeared to me that the eggs from which young **Insurers** were hatched, were ... ← It appeared to me that the eggs from which young **merchants** were hatched, were ...

(p.186)

· It was at a loss to account for this surprising **circumstance**. ← It was at a loss to account for this surprising **maternal property**,

· and could not help giving my mind to speculations **about** it, ← and could not help giving my mind to speculations **upon** it,

· ... said Mrs. Pocket, **looking off her book for a moment**, ← ... said Mrs. Pocket, **in mild amazement**,

· "I got here, Flopson?" **asked** Mrs. Pocket. ← "I got here, Flopson?" **said** Mrs. Pocket.

Chapter 23.

(p.187)

· his manner seemed **quite** natural. ← his manner seemed **unstudied and** natural.

(p.189)

・ … introduced me to their occupants, by name **Drummle** and Startop. **Drummle**, an old-looking young man … ← … introduced me to their occupants, by name **Jumble** and Startop. **Jumble**, an old-looking young man …

* ドラムルの名前も当初はジャンブルであり、修正されてドラムルになったと分かる。

・ It was a **smooth** way of going on, perhaps, in respect of saving trouble; ← It was a **satisfactory** way of going on, perhaps, in respect of saving trouble;

・ the servants felt it a duty they owed … to keep a deal of company **down stairs**. ← the servants felt it a duty they owed … to keep a deal of company **below stairs**.

・ but **when he had** had the happiness of marrying Mrs. Pocket very early in life, ← but **having** had the happiness of marrying Mrs. Pocket very early in life,

(p.190)

・ she told me **in** a gush of love and confidence ← she told me **with** a gush of love and confidence

・ “to have Mr. Pocket’s time and attention diverted from **dear Mrs. Pocket**.” ← “to have Mr. Pocket’s time and attention diverted from **Belinda**.”

(p.191)

・ it might be harder if the butcher’s time and attention were diverted from **dear Mrs. Pocket**, ← it might be harder if the butcher’s time and attention were diverted from **Belinda**,

・ which made no **impression** on anybody else, ← which made no **effect** on anybody else,

(p.192)

・ I liked it for a few **moments**, but she flattered me so very grossly that … ← I liked it for a few **minutes**, but she flattered me so very grossly that …

・ … or upon **Drummle** (who said **less**) , I rather envied them for being on the opposite side of the table. ← … or upon **Jumble** (who said **nothing**) , I rather envied them for being on the opposite side of the table.

・ while Mrs. Pocket looked at **the young Nobles that ought to have been**, as if … ← while Mrs. Pocket looked at **them**, as if …

(p.193)

・ Mrs. Pocket’s dignity was so crushing, that I **felt quite abashed**: ← Mrs. Pocket’s dignity was so

crushing, that I **almost felt**:

・ you **should** expose me to the affront of interference.
← you **would** expose me to the affront of interference.

(p.194)

・ “Good God!” cried Mr. Pocket, in **an outbreak of desolate** desperation. ← “Good God!” cried Mr. Pocket, in **a state of helpless** desperation.

・ “Hear this!” he **helplessly** exclaimed to the elements.
← “Hear this!” he **feebly** exclaimed to the elements.

・ “**Mr. Drummle**,” said Mrs. Pocket, ← “**Mamma dear!**” said Mrs. Pocket,

(p.195)

・ Then, in a **distant, Missionary** way he asked them certain questions ← Then, in a **solemn parental** way he asked them certain questions

・ As **Drummle** and Startop had each **a boat**, I resolved to set up mine, ← As **Jumble** and Startop had each **his boat**, I resolved to set up mine,

(p.196)

・ “This is that odious **Sophia’s** doing!” ← “This is that odious **Mary Anne’s** doing!”

・ “**Sophia** has told you,” said Mrs. Pocket. ← “**That detestable Mary Anne** has told you,” said Mrs. Pocket.

Chapter 24.

(p.197)

・ He advised my attending certain **places** in London,
← He advised my attending certain **classes** in London,

(p.198)

・ he sometimes caused **the boots** to creak, ← he sometimes caused **these boots** to creak,

(p.199)

・ When Mr. Wemmick had put all **the biscuit** into the post, and had paid me … ← When Mr. Wemmick had put all **his biscuit** into the post, and had paid me …

・ a high-shouldered man with a face-ache tied up in dirty flannel, **who was** dressed in old black clothes ← a high-shouldered man with a face-ache tied up in dirty flannel, **and** dressed in old black clothes

(p.200)

・ … if he didn’t also put the supposed testators to sleep **too**. ← … if he didn’t also put the supposed testators to sleep **and it looked precious like it**.

· You were a gentlemanly Cove, **though**” ← You were a gentlemanly Cove, **too**”

(p.201)

· I told him I would do so, with all the interest and curiosity that his preparation **awakened**. ← I told him I would do so, with all the interest and curiosity that his preparation **inspired**.

* 本作がピップの夢に関わる物語だという事を考えると、慣用表現とは言えここであえて「目覚め」が比喩的に用いられているのは興味深い。

Chapter 25.

(p.203)

· because that shed a **feeble** reflected light upon themselves. ← because that shed a **pale** reflected light upon themselves.

(p.204)

· with one or the other always at my elbow to give me the **start** I wanted, ← with one or the other always at my elbow to give me the **directions** I wanted,

· I reminded him of **it** when I bought the fowl, ← I reminded him of **that** when I bought the fowl,

· I really thought he was still **speaking of** the fowl, until he added … ← I really thought he was still **referring to** the fowl, until he added …

(p.205)

· Mr. Pip, there are about **seven** hundred thieves in this town ← Mr. Pip, there are about **five** hundred thieves in this town

* 本作はこの手の数字に関わる修正が目につく。

(p.206)

· … and to present the aspect of a **rather** dull retirement. ← … and to present the aspect of a **mighty** dull retirement.

· “**That’s** a real flagstaff, you see,” said Wemmick, ← “**There’s** a real flagstaff, you see,” said Wemmick,

(p.207)

· “This is a fine place of my son’s, sir,” **cried** the old man, ← “This is a fine place of my son’s, sir,” **pip**ed the old man,

· “You’re as proud of it as Punch; ain’t you, **Aged?**” said Wemmick, ← “You’re as proud of it as Punch; ain’t you, **aged parent?**” said Wemmick,

· with his hard face really **softened**; ← with his hard

face really **softening**;

(p.208)

· it had taken him a good many years to bring the property up to its present **pitch** of perfection. ← it had taken him a good many years to bring the property up to its present **point** of perfection.

· as a preliminary to the performance of **this** great nightly ceremony. ← as a preliminary to the performance of **the** great nightly ceremony.

· Upon **this**, the Aged—who I believe would have been blown out of his armchair … ← Upon **which**, the Aged—who I believe would have been blown out of his armchair …

(p.209)

· Wemmick was up **early** in the morning, and … ← Wemmick was up **betimes** in the morning, and …

Chapter 26.

(p.212)

· Rather tall, of a lithe nimble figure, extremely pale, with large **faded** eyes, and … ← Rather tall, of a lithe nimble figure, extremely pale, with large **blue** eyes, and …

(p.213)

· and wanted him to speak when she was **nigh**, if he had anything to say. ← and wanted him to speak when she was **near**, if he had anything to say.

(p.214)

· with her eyes attentively and **entreatingly** fixed upon him. ← with her eyes attentively and **timidly** fixed upon him.

· While he said these words in a leisurely critical **style**, she continued to look at … ← While he said these words in a leisurely critical **way**, she continued to look at …

(p.215)

· Mr. Jagers followed him with the same **strange** interest. ← Mr. Jagers followed him with the same **inexplicable** interest.

· It led to my remarking, with more zeal than **discretion**, that … ← It led to my remarking, with more zeal than **politeness**, that …

· “You **are right**,” said Drummle. “I wouldn’t lend one of you a sixpence. ← “You **do me justice**,” said

Drummler. “I wouldn’t lend one of you a sixpence.

(p.216)

· you seemed to be immensely amused at his being **so weak** as to lend it.” ← you seemed to be immensely amused at his being **such an ass** as to lend it.”

(p.217)

· Keep as clear of him as **you can**. ← Keep as clear of him as **may be**.

Chapter 27.

(p.218)

· My greatest **reassurance** was, that he was coming to Barnard’s Inn, ← My greatest **comfort** was, that he was coming to Barnard’s Inn,

· For, after I had made **the monster** (out of the refuse of my washerwoman’s family) ← For, after I had made **my monster** (out of the refuse of my washerwoman’s family)

(p.219)

· Unfortunately the morning was **drizzly**, and … ← Unfortunately the morning was **foggy**, and …

· “I am **glad** to see you, Joe. Give me your hat.” ← “I am **delighted** to see you, Joe. Give me your hat.”

· But Joe, taking it up **carefully** with both hands, like a bird’s-nest with eggs in it, ← But Joe, taking it up **gingerly** with both hands, like a bird’s-nest with eggs in it,

(p.220)

· “Were you **at his performance**, Joe?” I inquired. ← “Were you **there**, Joe?” I inquired.

· Partickler, **when** he see the ghost. ← Partickler, **where** he see the ghost.

· “but that is no reason why you should put him out at such a **time**. ← “but that is no reason why you should put him out at such a **moment**.

· Which I meantersay, if the ghost of a man’s own father cannot be allowed to **claim** his attention, ← Which I meantersay, if the ghost of a man’s own father cannot be allowed to **ockipy** his attention,

(p.221)

· the Avenger, who was putting some **toast on table**, and … ← the Avenger, who was putting some **eggs on table**, and …

· … said Joe, **confidentially**, “and I believe its

character do stand I; ← … said Joe, **persuasively**, “and I believe its character do stand I;

· having incidentally shown **this** tendency to call me “sir,” Joe … ← having incidentally shown **his** tendency to call me “sir,” Joe …

· “Do you take tea, or coffee, Mr. Gargery?” **asked** Herbert, who always presided of a morning. ← “Do you take tea, or coffee, Mr. Gargery?” **said** Herbert, who always presided of a morning.

· “since you *are* so kind as **make chice of coffee**, I will not run contrary to your own opinions. ← “since you *are* so kind as **put that name to it**, I will not run contrary to your own opinions.

(p.222)

· … as if he had **had time to catch** the whooping-cough since he came. ← … as if he had **caught** the whooping-cough since he came.

· Why should a man scrape himself to that extent, before he could consider himself **full dressed**? ← Why should a man scrape himself to that extent, before he could consider himself **smart**?

(p.224)

· ‘that which Estella **has** come home and would be glad to see him.” ← ‘that which Estella **is** come home and would be glad to see him.”

· **Biddy** says, ‘I know he will be very glad to have it by word of mouth, ← **She** says, ‘I know he will be very glad to have it by word of mouth,

· “and, Pip, I wish you ever well and ever prospering **to a greater and a greater heighth**.” ← “and, Pip, I wish you ever well and ever prospering **more and more**.”

· Our eyes met, and all the “Sir” melted out of that **manly** heart as he gave me his hand. ← Our eyes met, and all the “Sir” melted out of that **honest open** heart as he gave me his hand.

(p.225)

· you come and put your head in at the forge winder and **see** Joe the blacksmith, ← you come and put your head in at the forge winder and **look at** Joe the blacksmith,

· in the old burnt apron, **sticking to** the old work. ← in the old burnt apron, **at** the old work.

· I **hurried** out after him and looked for him in the neighbouring streets; ← I **ran** out after him and looked for him in the neighbouring streets;

Chapter 28.

(p.226)

・ it was almost solemn to imagine him casually produced in **the tailor's** shop and … ← it was almost solemn to imagine him casually produced in **my local tailor's** shop and …

・ for constitutionally faltering **whenever** I heard the word convict. ← for constitutionally faltering **when** I heard the word convict.

(p.227)

・ … to have had allotted to him the **smaller** suit of clothes. ← … to have had allotted to him the **smallest** suit of clothes.

・ I knew his half-closed eye at **one** glance. ← I knew his half-closed eye at a glance.

・ There stood the man whom I had seen … **on a Saturday night**. ← There stood the man whom I had seen … **one Saturday night**,

(p.228)

・ “Don't take it so much amiss, sir,” **pleaded** the keeper to the angry passenger; ← “Don't take it so much amiss, sir,” **said** the keeper to the angry passenger;

・ …, and began cracking nuts, and spitting the shells **about**. ← …, and began cracking nuts, and spitting the shells **away**.

(p.229)

・ in considering the question whether I ought to restore a couple of **pounds sterling** to this creature ← in considering the question whether I ought to restore a couple of **guineas** to this creature

* 以下同様の修正が続いているが、ピップが受け取ったお金が、当初はギニーだったのが2枚の1ポンド札に変わっている。

・ The very first words … were the words of my own thought, “Two **One Pound notes**.” ← The very first words … were the words of my own thought, “Two **Guineas**.”

・ “**Two one pound notes**, or friends?” “**Two one pond notes**, I'd sell all the friends I ever had, for one, ← “**Guineas**, or friends?” “**Guineas**, I'd sell all the friends I ever had, for one,

・ … and give him them two **one pound notes**? ← … and give him them two **guineas**?

(p.230)

・ “A most **beastly** place. Mudbank, mist, swamp …” ←

“A most **infernal** place. Mudbank, mist, swamp …”

* 似たような単語ではあるが、この修正は、沼地のマグウィッチの描写に見られる獣のイメージとも連動していると思われる。

・ and put myself **out of** his hearing. ← and put myself **beyond** his hearing.

・ again saw the wicked Noah's Ark lying out **on** the black water. ← again saw the wicked Noah's Ark lying out **in** the black water.

・ but there was **great** fear upon me. ← but there was **a** fear upon me.

・ I felt that a dread, **much** exceeding the mere apprehension of a painful or disagreeable recognition, made me tremble. ← I felt that a dread, **far** exceeding the mere apprehension of a painful or disagreeable recognition, made me tremble.

(p.231)

・ our town produced the founder of **the latter's** fortunes. ← our town produced the founder of **his** fortunes.

Chapter 29.

(p.231)

・ It was too early yet to go to Miss Havisham's, **so** I loitered into the country on … ← It was too early yet to go to Miss Havisham's, **and** I loitered into the country on …

(p.233)

・ The last man I **should** have expected to see in that place of porter at Miss Havisham's door. ← The last man I **could** have expected to see in that place of porter at Miss Havisham's door.

・ “**Yes!**” said he, facing round, after doggedly preceding me a few steps towards the house. ← “**Ah!**” said he, facing round, after doggedly preceding me a few steps towards the house.

(p.234)

・ I am glad to tell you that **Mr. Pocket** and family are all well. ← I am glad to tell you that **your brother** and family are all well.

・ “Are they any wiser?” said **Sarah**, with a dismal shake of **the head**; ← “Are they any wiser?” said **Miss Pocket**, with a dismal shake of **her head**;

(p.235)

・ I knew no better then, and **the like**. ← I knew no

better then, and **so forth**.

(p.236)

· I **should** wheel her about a little as in times of yore.
← I **must** wheel her about a little as in times of yore.
· “**He and I** are great friends now,” said I. ← “**We** are great friends now,” said I.

(p.237)

· the air of youthfulness and **submission** with which I walked at hers, made a contrast that … ← the air of youthfulness and **deference** with which I walked at hers, made a contrast that …

(p.238)

· “What is the matter?” **asked** Estella. ← “What is the matter?” **said** Estella.

(p.239)

· though I think that might be laid aside now, with other old **belongings**. ← though I think that might be laid aside now, with other old **incumbrances**.
· my guardian … would **come back** to dinner. ← my guardian … would **return** to dinner.
· It was like pushing the chair **itself** back into the past, ← It was like pushing the chair **bodily** back into the past,

(p.240)

· “**Hear me**, Pip! I adopted her to be loved. ← “**Hark you**, Pip! I adopted her to be loved.
· When she came to that, and to a **wild** cry that followed that, I caught her round the waist. ← When she came to that, and to a **desperate** cry that followed that, I caught her round the waist.

(p.241)

· She made a strong attempt to compose herself, and **stammered that** he was as punctual as ever. ← She made a strong attempt to compose herself, and **said** he was as punctual as ever.

(p.242)

· And when **he and I** were left alone together he sat with an air … ← And when **we** were left alone together he sat with an air …
· He held it between **himself** and the candle, tasted the port, rolled it in his mouth, … ← He held it between **him** and the candle, tasted the port, rolled it

in his mouth, …

(p.243)

· Miss Havisham, in a **fantastic** way, had put … ← Miss Havisham, in a **wild** way, had put …
· about her bosom and **arms**; ← about her bosom and **waist**;

(p.244)

· “I love her, I love her, I love her!” **hundreds** of times.
← “I love her, I love her, I love her!” **thousands** of times.
*ミス・ハヴィシャムの異常性を考えると「何千回も」という元の表現もおかしくないが、流石に非現実的と考えたのか、「何百回も」に数を減らしている。

Chapter 30.

(p.244)

· “I’ll go round **presently**, and pay our friend off.” ← “I’ll go round **before we start**, and pay our friend off.”

(p.247)

· I have had senses to **perceive** it. ← I have had senses to **know** it.

(p.248)

· “Oh! She is thousands of miles away, **from me**,” said I.
← “Oh! She is thousands of miles away, **as yet**,” said I.
· it seems to me that, concentrating our attention on **the examination**, we altogether overlook … ← it seems to me that, concentrating our attention on **that examination**, we altogether overlook …
· I want to make myself seriously disagreeable to you for **a moment**—positively repulsive. ← I want to make myself seriously disagreeable to you for **one moment**—positively repulsive.

(p.252)

· it was his intention to marry **this** young lady. ← it was his intention to marry **the** young lady.

Chapter 31.

(p.253)

· My gifted townsman stood **gloomily** apart, with folded arms ← My gifted townsman stood **glooming** apart, with folded arms
· This gradually led to a want of toleration for him, and even—on his being detected in **holy orders**, and … ← This gradually led to a want of toleration for him,

and even—on his being detected in **clerical disguise**, and ...

(p.254)

· the churchyard: which had the appearance of a **primeval forest**, ← the churchyard: which had the appearance of a **wood**,

(p.255)

· with the addition of a large Danish **sun or star** hanging round his neck ← with the addition of a large Danish **order** hanging round his neck

(p.256)

· Mr. Waldengarver looked up at **us** complacently, and said: ← Mr. Waldengarver looked up at **me** complacently, and said:

· I ... must beg to insist upon it, “massive and **concrete**.” ← I ... must beg to insist upon it, “massive and **excellent**.”

(p.257)

· The last Hamlet as I dressed, made the same **mistakes** in his reading at rehearsal, ← The last Hamlet as I dressed, made the same **mistake** in his reading at rehearsal,

(p.258)

· inasmuch as his decease would leave it utterly **bereft and** without a chance or hope. ← inasmuch as his decease would leave it utterly **bereaved** without a chance or hope.

Chapter 32.

(p.260)

· in his **settling** his hat a little easier on his head with both hands, ← in his **setting** his hat a little easier on his head with both hands,

(p.261)

· “I think I shall be **out of this** on Monday, sir,” he said to Wemmick. ← “I think I shall be **off** on Monday, sir,” he said to Wemmick.

· “I should have asked the favour of your wearing another ring—in acknowledgement of your **attentions**.” ← “I should have asked the favour of your wearing another ring—in acknowledgement of your **attention**.”

· if you’ve no **further** use for ‘em?” ← if you’ve no **better** use for ‘em?”

(p.262)

· he is sure to be **executed** on Monday. **Still** you see, as far as it goes, a pair of pigeons are ... ← he is sure to be **hanged** on Monday. **But** you see, as far as it goes, a pair of pigeons are ...

· Wemmick, turning to me with **his** post-office **elongated**. ← Wemmick, turning to me with **the** post-office **lengthened**.

Chapter 33.

(p.265)

· I was, and I am, sensible that the air of this **chamber**, ... might have led one to infer that the coaching **department** was not doing well, ← I was, and I am, sensible that the air of this **apartment**, ... might have led one to infer that the coaching **business** was not doing well,

(p.266)

· you would not be amused if they did me any **harm**. ← you would not be amused if they did me any **injury**.

(p.267)

· I **leaned** down, and her calm face was like a statue’s. ← I **bent** down, and her calm face was like a statue’s.

· “Now,” said Estella, **gliding** away the instant I touched her cheek, ← “Now,” said Estella, **shrinking** away the instant I touched her cheek,

· a pale **loaf with a powdered head**, ← a pale **unhealthy loaf**,

(p.268)

· I would not have confessed to my visit **for** any consideration. ← I would not have confessed to my visit **on** any consideration.

(p.269)

· she had merely passed through **London** then in going and returning. ← she had merely passed through **it** then in going and returning.

(p.270)

· they would soon drop into them and go the silent way **of** the rest. ← they would soon drop into them and go the silent way **with** the rest.

Chapter 34.

(p.272)

· he looked about him with a **desponding** eye at

breakfast time; ← he looked about him with a **despondent** eye at breakfast time;

- I am now generalising a period of my life with the object of clearing **my** way before me, ← I am now generalising a period of my life with the object of clearing **the** way before me,
- **most of** our acquaintance were in the same condition.
- ← **all** our acquaintance were in the same condition.

Chapter 35.

(p.277)

· I suppose there is a shock of regret **which** may exist without much tenderness. ← I suppose there is a shock of regret **that** may exist without much tenderness.

(p.278)

- most of the women, were **admiring** these sable warders and the closed windows of the house and forge; ← most of the women, were **contemplating** these sable warders and the closed windows of the house and forge;
- he had just finished putting somebody's hat into black long-clothes, like **an African** baby; ← he had just finished putting somebody's hat into black long-clothes, like **a** baby;
- he had evidently been **stationed** by Trabb. ← he had evidently been **deposited** by Trabb.

(p.279)

- it was dreadfully like a preparation for some grim **kind** of dance; ← it was dreadfully like a preparation for some grim **sort** of dance;
- the more exuberant among them called out in **an excited** manner on our emergence ... ← the more exuberant among them called out in **a joyful** manner on our emergence ...

(p.280)

· **And now**, the range of marshes lay clear before us, ← **At last**, the range of marshes lay clear before us,

(p.281)

- there was great **restraint** upon us. ← there was great **constraint** upon us.
- He was very much pleased by my asking if I might sleep in my **own** little room, ← He was very much pleased by my asking if I might sleep in my **old** little room,
- I did not like the thought of **making her cry** again.

← I did not like the thought of **bringing tears into her eyes** again.

(p.282)

· she laid her **head** down on his shoulder quite content and satisfied. ← she laid her **hand** down on his shoulder quite content and satisfied.

Chapter 36.

(p.288)

· “When that person **discloses**,” said Mr. Jagggers, straightening himself, “you and that person will settle your own affairs. When that person **discloses**, my part in this business will cease and determine. When that person **discloses**, it will not be necessary for me to know anything about it. And that's all I have got to say.” ← “When that person **appears**,” said Mr. Jagggers, straightening himself, “you and that person will settle your own affairs. When that person **appears**, my part in this business will cease and determine. When that person **appears**, it will not be necessary for me to know anything about it. And that's all I have got to say.”

* 1つの段落の中で同じ単語を全て修正しているという希少な例。同じ表現の繰り返し故、という考え方も出来るが、徹底しているところは注目に値する。この修正の意味については、この Appendix に先立つ論文で考察した通りである。

(p.290)

· Mr. Jagggers made not me alone intensely melancholy, **because**, after he was gone, Herbert said of himself, ... ← Mr. Jagggers made not me alone intensely melancholy, **for**, after he was gone, Herbert said of himself, ...

Chapter 37.

(p.292)

· She might have been some **two or three** years younger than Wemmick, ← She might have been some **few** years younger than Wemmick,

* この修正により、ウェミックとミス・スキップインズの年齢差がより具体的になっている。

(p.293)

· I expressed the **great** admiration with which I regarded them, ← I expressed the **high** admiration with which I regarded them,

(p.294)

・ the pig in the back premises became strongly excited, and **repeatedly** expressed his desire to participate in the entertainment. ← the pig in the back premises became strongly excited, and **audibly** expressed his desire to participate in the entertainment.

(p.297)

・ At **length**, the thing being done, and he having that day entered Clarriker's House, … I did really cry in good earnest ← At **last**, the thing being done, and he having that day entered Clarriker's House, … I did really cry in good earnest
 ・ I must give **one** chapter to Estella. ← I must give a chapter to Estella.

Chapter 38.

(p.298)

・ Let my body be where it would, my spirit was **always** wandering, wandering, wandering, about that house. ← Let my body be where it would, my spirit was **ever** wandering, wandering, wandering, about that house.

(p.299)

・ I should have **replied** that Love was commonly reputed blind, ← I should have **retorted** that Love was commonly reputed blind,

(p.300)

・ she sat with her other hand on her **crutch** stick, ← she sat with her other hand on her **crutched** stick,

(p.302)

・ “Mother by adoption,” **retorted** Estella, never departing from the easy grace of her attitude, ← “Mother by adoption,” **returned** Estella, never departing from the easy grace of her attitude,

(p.304)

・ she must always turn **against** it, for … ← she must always turn **upon** it, for …
 ・ The success is not mine, the failure is not mine, but the two together **make** me.” ← The success is not mine, the failure is not mine, but the two together **are** me.”
 ・ A **thousand** Miss Havishams **haunted** me. ← A **million of** Miss Havishams **appeared to haunt** me.

* ピップの夢の描写。夢の中に出てくるミス・ハヴィシャムの数を100万人という荒唐無稽な数字（夢とは言え、誰が数えたのか、という疑問も生じる）から、1000人というあり得そうな数に減らす事で、逆にその夢のリアリティが増すという興味深い修正。

(p.305)

・ in the dressing-room, in the room overhead, in the room **beneath**— ← in the dressing-room, in the room overhead, in the room **underfoot**—
 ・ During the whole interval, whenever I **went** to the bottom of the staircase, I heard her footstep, ← During the whole interval, whenever I **came** to the bottom of the staircase, I heard her footstep,

(p.307)

・ she had had the honour of dancing with him **several times**. ← she had had the honour of dancing with him **more than once**.

* エステラがドラムルとダンスした回数。「1度以上」から「数回」に増やされ、それだけピップの苛立ちが募る様が描かれている。

・ what pain it gave me to think that Estella should show any favour to a contemptible, clumsy, sulky **booby**, ← what pain it gave me to think that Estella should show any favour to a contemptible, clumsy, sulky **fellow**,

・ where Estella had outshone all other beauties, this blundering **Drummler** so hung about her, ← where Estella had outshone all other beauties, this blundering **Bentley Drummler** so hung about her,

(p.308)

・ “Moths, and all sorts of ugly creatures,” **replied** Estella, ← “Moths, and all sorts of ugly creatures,” **said** Estella,

(p.309)

・ “Pip … don't be foolish about its effect on **you**.” ← “Pip … don't be foolish about its effect on **yourself**.”

・ “Do you want me then,” **said** Estella, turning suddenly … ← “Do you want me then,” **demanded** Estella, turning suddenly …

・ In the Eastern story, the **heavy** slab that was to fall on the bed of state in the flus of conquest was … ← In the Eastern story, the **crushing** slab that was to fall on the bed of state in the flus of conquest was …

Chapter 39.

(p.312)

· “Yes,” said a voice from the darkness **beneath**. ←
“Yes,” said a voice from the darkness **below**.

(p.313)

· He sat down **on** a chair that stood before the fire, ←
He sat down **in** a chair that stood before the fire,

(p.314)

· I hope you have shown your gratitude by mending
your **way of life**. ← I hope you have shown your
gratitude by mending your **ways**.

(p.315)

· Without stopping to try to understand **those** words
or the tone in which they were spoken, I turned off to
… ← Without stopping to try to understand **these**
words or the tone in which they were spoken, I turned
off to …

(p.318)

· … and **he** was all the more horrible to me that he
was so much in earnest; ← … and **it** was all the more
horrible to me that he was so much in earnest;

(p.319)

· I shuddered at the thought that for anything I knew,
his hand might be stationed with blood. ← I shuddered
at the thought that for anything I knew, **it** might be
stationed with blood.

*本作は「手」のイメージが至るところで強調されているが、「彼の手」を明示したこの修正も一役買っていると言えよう。

· “for I’ve been sea-tossed and sea-washed, **months** and
months.” ← “for I’ve been sea-tossed and sea-washed,
weeks and months.”

(p.320)

· I began fully to know how **wrecked** I was, and … ←
I began fully to know how **cast adrift now** I was, and
…

(p.321)

· I had had mysterious warnings of this man’s
approach. ← I had had mysterious warnings of this
man’s **arrival**.

Chapter 40.

(p.325)

· the attempt to do it **would** inevitably engender
suspicion. ← the attempt to do it **must** inevitably
engender suspicion.

· to keep a room secret from them would be to **invite**
curiosity and exaggeration. ← to keep a room secret
from them would be to **stimulate** curiosity and
exaggeration.

· we did not care to endanger the light in the lantern
by rekindling the extinguished lamps on the staircase,
← we did not care to endanger the light in the lantern
in rekindling the extinguished lamps on the staircase,

(p.326)

· whether he had admitted at his gate any **gentleman**
who had … ← whether he had admitted at his gate
any **gentlemen** who had …

(p.327)

· **Whereas** they were easy of innocent solution apart—
← **While** they were easy of innocent solution apart—

· I lighted my fire, which burnt with a raw pale **flare**
at that time of the morning, ← I lighted my fire, which
burnt with a raw pale **look** at that time of the morning,

· At **last**, the old woman and the niece came in— ←
At **length**, the old woman and the niece came in—

*第37章(297ページ)ではこれとは逆の修正が見られる。

(p.328)

· I thought he had a **worse** look by daylight. ← I
thought he had a **more villainous** look by daylight.

· “What is your **real** name?” I asked him in a whisper.
← “What is your **own** name?” I asked him in a whisper.

(p.329)

· “And **what** I done is worked out and paid for!” ←
“And **wotever** I done is worked out and paid for!”

· he looked terribly like **a hungry** old dog. ← he looked
terribly like **an** old dog.

(p.330)

· I heard his hoarse voice, and sat looking up at his
furrowed bald head **with its** iron grey hair at the sides.

← I heard his hoarse voice, and sat looking up at his
furrowed bald head **and his** iron grey hair at the sides.

· he wound up, looking round the room and snapping
his fingers once with a loud **snap**, ← he wound up,
looking round the room and snapping his fingers once

with a loud **crack**,

(p.331)

· Nor yet I don't intend to advertise myself in the **newspapers** by the name of A. M. come back from ...
 ← Nor yet I don't intend to advertise myself in the **papers** by the name of A. M. come back from ...

(p.333)

· He ... had in his own mind sketched a dress for himself **that** would have made him something between a dean and a dentist. ← He ... had in his own mind sketched a dress for himself **which** would have made him something between a dean and a dentist.

(p.334)

· I pleaded with a **downcast** heart. ← I pleaded with a **miserable** heart.
 · ... said I, with a sigh, after standing **silent** for a little while. ← ... said I, with a sigh, after standing **downcast** for a little while.

(p.335)

· "**You know it's Provis.** ← "Just so."
 · I went straight back to the Temple, **where** I found the terrible Provis ← I went straight back to the Temple, **and there** I found the terrible Provis

(p.336)

· ... as if they were **clumsy** pannikins— ← ... as if they were **great** pannikins—
 · ... until the impulse was **powerful on** me to start up and fly from him. ← ... until the impulse was **strong upon** me to start up and fly from him.

(p.337)

· When he was not asleep, or playing **a complicated** kind of Patience with ... ← When he was not asleep, or playing **an involved** kind of Patience with ...
 · "**Foreign language**, dear boy!" ← "**Some French**, dear boy!"
 * 「フランス語」から「外国語」に修正されることで、マグウィッチがフランス語やドイツ語の区別がつかない無教養な人間である、という事実が示唆されている。
 · the more he admired me and the **fonder** he was of me. ← the more he admired me and the **prouder** he was of me.
 · It lasted **about** five days. ← It lasted **some** five days.
 · "**Quiet!** It's Herbert!" I said; ← "**Steady!** It's Herbert!"

I said;

(p.338)

· He was stopped in his **running** on and in his shaking hands with me, ← He was stopped in his **rattling** on and in his shaking hands with me,
 · And never believe me on mine, if Pip **shan't** make a gentleman **on** you!" ← And never believe me on mine, if Pip **don't** make a gentleman **of** you!"

Chapter 41.

(p.341)

· a man of a desperate and fierce **character**." ← a man of a desperate and fierce **nature**."
 · that would be his **reckless course** if you forsook him." ← that would be his **revenge** if you forsook him."

(p.342)

· It has almost **made** me mad to sit here ... ← It has almost **driven** me mad to sit here ...
 · That done, extricate yourself, in **Heaven's** name, and ... ← That done, extricate yourself, in **God's** name, and ...

Chapter 42.

(p.345)

· a traveling **Giant** what signed his name at a penny a time learnt me to write. ← a traveling **Dwarf** what signed his name at a penny a time learnt me to write.
 · His right name was **Compeyson**; ← His right name was **Compey**;
 * 本作の宿敵コンピソンであるが、元々は名前が違っていた。親子という観点から本作を考える場合、彼の名前に息子を意味する“son”が追加されたという事実は無視できない。

(p.347)

· 'And to take that ugly **thing** away from her?' ← 'And to take that ugly **shroud** away from her?'

(p.348)

· "There ain't no need to go into it," he said, looking round **once more**. ← "There ain't no need to go into it," he said, looking round **again**.

(p.349)

· 'My lord and gentlemen, here you **has** afore you, side by side, ...' ← 'My lord and gentlemen, here you **have** afore you, side by side, ...'

· the elder, ill brought up, who will be spoke to as **such**; ← the elder, ill brought up, who will be spoke to as a **hardened offender**;

(p.350)

· and ain't it me as the Judge perceives to be a **old offender** of wiolent passion, ← and ain't it me as the Judge perceives to be a **man** of wiolent passion,
· He had worked himself into a state of **great** excitement, ← He had worked himself into a state of **strong** excitement,

Chapter 43.

(p.353)

· When we drove up to the Blue Boar after a drizzly ride, **whom** should I see come out under the gateway, ... ← When we drove up to the Blue Boar after a drizzly ride, **who** should I see come out under the gateway, ...
· as the foreign matter of coffee, pickles, fish sauces, **gravy**, melted butter, and wine, ← as the foreign matter of coffee, pickles, fish sauces, **mutton chops**, melted butter, and wine

(p.356)

· as Drummle **leaned** down from the saddle and lighted his cigar and laughed, ... ← as Drummle **bent** down from the saddle and lighted his cigar and laughed, ...

Chapter 44.

(p.358)

· “**Yes**,” she returned, again nodding steadily, ← “**Aye**,” she returned, again nodding steadily,

(p.360)

· “It would have been cruel in Miss Havisham, horribly cruel, to practice on the **susceptibility** of a poor boy, and ...” ← “It would have been cruel in Miss Havisham, horribly cruel, to practice on the **affections** of a poor boy, and ...”
· I think that in the endurance of her own **trial**, she forgot mine, Estella. ← I think that in the endurance of her own **suffering**, she forgot mine, Estella.

(p.361)

· “It is in the nature formed **within** me. ← “It is in the nature formed **for** me.
· I make a great difference between you and all other

people when I **say** so much. ← I make a great difference between you and all other people when I **tell you** so much.

· I well know—but bestow yourself on some worthier **person** than Drummle. ← I well know—but bestow yourself on some worthier **object** than Drummle.

(p.362)

· I shall do well enough, and so will **my husband**. ← I shall do well enough, and so will **he**.
· Do we part on this, you **visionary** boy—or man?” ← Do we part on this, you **silly** boy—or man?”

(p.363)

· let me feel now what **sharp distress** I may. ← let me feel now what **pain** I may.
· The rhapsody welled up **within** me, like blood from an inward wound, ← The rhapsody welled up **in** me, like blood from an inward wound,
· that while **Estella** looked at me merely with incredulous wonder, ... ← that while **she** looked at me merely with incredulous wonder, ...

Chapter 45.

(p.365)

· The closet whispered, the fireplace sighed, the little washing-stand **ticked**, and ... ← The closet whispered, the fireplace sighed, the little washing-stand **complained of pain**, and ...
· But all **this** time, why I was not to go home, and ... ← But all **that** time, why I was not to go home, and ...

(p.367)

· I don't know who it may really be—we won't name **this** person—” ← I don't know who it may really be—we won't name **the** person—”
· ... and gave him quite a rakish **air**. ← ... and gave him quite a rakish **aspect**.

(p.368)

· Wemmick looked very **serious**. ← Wemmick looked very **grave**.

(p.369)

· ... with a view to the **lapse** of a little time before I made her acquaintance. ← ... with a view to the **passage** of a little time before I made her acquaintance.

(p.371)

· I nodded at the Aged with a good intention whenever I failed to do it **drowsily**. ← I nodded at the Aged with a good intention whenever I failed to do it **accidentally**.

Chapter 46.

(p.372)

· … **along** a series of wooden frames set in the ground, that looked like **superannuated** haymaking-rakes which had grown old and … ← … **through** a series of wooden frames set in the ground, that looked like **infirm** haymaking-rakes which had grown old and …

· Herbert, **who silently** led me into the parlour and shut the door. ← Herbert, **with his finger on his lips, who** led me into the parlour and shut the door.

· his Majesty King George the Third in a **state-coachman's** wig, ← his Majesty King George the Third in a **coachman's** wig,

(p.373)

· He seemed to have hurt himself very much, for he gave another **furious** roar. ← He seemed to have hurt himself very much, for he gave another **tremendous** roar.

· he first knew Miss Clara Barley when she was **completing** her education at … ← he first knew Miss Clara Barley when she was **finishing** her education at …

(p.376)

· I put it to him whether in our present unsettled and **difficult** circumstances, it would not be … ← I put it to him whether in our present unsettled and **different** circumstances, it would not be …

· he had always known it **to be** a venture. ← he had always known it **was** a venture.

· it might be worth while to **pursue**. ← it might be worth while to **consider**.

· that would save at least a chance of suspicion, and **any** chance is worth saving. ← that would save at least a chance of suspicion, and **a** chance is worth saving.

· … remarking to Herbert that **he and I** had better not go home together, ← … remarking to Herbert that **we** had better not go home together,

(p.377)

· I felt as if the Old Green Copper Rope-Walk had **grown** quite a different place. ← I felt as if the Old Green Copper Rope-Walk had **become** quite a different

place.

(p.378)

· but as the hours of the **tide** changes, I took towards London Bridge. ← but as the hours of the **tides** changes, I took towards London Bridge.

Chapter 47.

(p.380)

· to this day there is scarcely a single chop-house **within** the Lord Mayor's dominions which is not Geographical ← to this day there is scarcely a single chop-house **in** the Lord Mayor's dominions which is not Geographical

(p.381)

· though I could have wished his trousers not quite so tight in some **places** and not quite so loose in others ← though I could have wished his trousers not quite so tight in some **parts** and not quite so loose in others

· a shock of red **curtain-fringe** for his hair ← a shock of red **fringe** for his hair

(p.383)

· I **could** hardly believe it myself, if you told me. ← I **should** hardly believe it myself, if you told me.

(p.384)

· it was **in** those very moments when he was closest to me; ← it was **at** those very moments when he was closest to me;

Chapter 48.

(p.388)

· and with what **those** might be after twenty years of a brutal husband and a stormy life. ← and with what **they** might be after twenty years of a brutal husband and a stormy life.

· I saw a face looking at me, and a hand waving to me, from a **stage-coach** window; ← I saw a face looking at me, and a hand waving to me, from a **coach** window;

· Mr. Jagers … was not likely to have missed the **sentiments** I had been at no pains to conceal. ← Mr. Jagers … was not likely to have missed the **sentiment** I had been at no pains to conceal.

(p.389)

· It was a **dull** evening, for Wemmick drew his wine when it came round, **quite** as a matter of business …

← It was a **heavy** evening, for Wemmick drew his wine when it came round, **strictly** as a matter of business …

(p.390)

・ I **feel** a particular interest in being acquainted with it. ← I **have** a particular interest in being acquainted with it.
・ Anyhow, it was hot enough when it was up, as you may **suppose**.” ← Anyhow, it was hot enough when it was up, as you may **imagine**.”

(p.391)

・ “Well, sir!” **Wemmick went on**; ← “Well, sir!” **said Wemmick**;
・ to have little shreds of her dress and little **spots** of blood upon them here and there. ← to have little shreds of her dress and little **spirits** of blood upon them here and there.

(p.392)

・ I went home, with new matter for my thoughts, **though** with no relief from the old. ← I went home, with new matter for my thoughts, **yet** with no relief from the old.

Chapter 49.

(p.392)

・ I saw her sitting on the hearth in a ragged chair, close **before**, and … ← I saw her sitting on the hearth in a ragged chair, close **to**, and …

(p.393)

・ … as though she **was** going to touch me; ← … as though she **were** going to touch me;

(p.394)

・ She … softly **laid** her forehead on it. ← She … softly **dropped** her forehead on it.

(p.395)

・ She … evidently **intended** to absolve me from any suspicion of profiting by the receipt of the money. ← She … evidently **meant** to absolve me from any suspicion of profiting by the receipt of the money.

(p.397)

・ I **stole** her heart away and put ice in its place.” ← I **took** her heart away and put ice in its place.”

(p.398)

・ “**Two or** three. She herself knows nothing, but that she was …” ← “**About** three. She herself knows nothing, but that she was …”

・ and leaving miniature **swamps** and pools of water upon those that stood on end, ← and leaving miniature **marshes** and pools of water upon those that stood on end,

・ I **fancied that** I saw Miss Havisham hanging to the beam. ← I **thought** I saw Miss Havisham hanging to the beam.

(p.399)

・ I had a double-caped great coat on, and over my arm **another thick coat**. ← I had a double-caped great coat on, and over my arm **a wrapper**.

*ミス・ハヴィンシャムに燃え移った火を消そうとする場面の描写より。草稿の“wrapper”はいわゆる肩掛けであるが、「もう1つの分厚いコート」と、わざわざ「分厚い」という形容詞付きのコートを持たせている。冷静に考えて、肩掛けでは火が消せないと思ったのであろう。

Chapter 50.

(p.401)

・ I was awakened by Miss Havisham’s cries, and by her running **at me** with all that height of fire above her head. ← I was awakened by Miss Havisham’s cries, and by her running **to the door** with all that height of fire above her head.

(p.404)

・ It was clear last night that his barbed the point of Provis’s **animosity**. ← It was clear last night that his barbed the point of Provis’s **hatred**.

・ It had happened **some three or** four years then, he said, ← It had happened **about** four years then, he said,

Chapter 51.

(p.405)

・ the question was not before me in **a distinct** shape, ← the question was not before me in **any distinct** shape,

・ Perhaps the latter possibility **may be** the nearer to the truth. ← Perhaps the latter possibility **is** the nearer to the truth.

(p.406)

・ Mr. Jaggers’s eyes retired a little **deeper** into his head ← Mr. Jaggers’s eyes retired a little **further** into

his head

· “Every man’s business,” **said Wemmick, rather reproachfully towards me**, ← “Every man’s business,” **added Wemmick, reproachfully**,

(p.407)

· as Herbert had **repeated** it ← as Herbert had **delivered** it

· I was afraid to look at him **just then**, ← I was afraid to look at him **at that juncture**,

(p.410)

· he habitually knew of **their** being imprisoned, whipped, … ← he habitually knew of **them** being imprisoned, whipped, …

· to be prosecuted, defended, **forsworn**, made orphans, be-devilled somehow. ← to be prosecuted, defended, **examined**, made orphans, be-devilled somehow.

· here was one pretty little child out of the heap, **who** could be saved; ← here was one pretty little child out of the heap, **that** could be saved;

· whom the father believed dead, and **dared** make no stir about; ← whom the father believed dead, and **dare** make no stir about;

(p.411)

· the terror of death had a little shaken **the woman’s** intellects, ← the terror of death had a little shaken **that woman’s** intellects,

· I think if she had done **such a deed** she would be safer where she was. ← I think if she had done **a murder** she would be safer where she was.

(p.412)

· Mr. Jaggery and Wemmick … went to work again with **an air of** refreshment upon them ← Mr. Jaggery and Wemmick … went to work again with **a visible** refreshment upon them

Chapter 52.

(p.413)

· I had the great satisfaction of **concluding** that arrangement. ← I had the great satisfaction of **completing** that arrangement.

· My right **arm** was tolerably restored; ← My right **hand** was tolerably restored;

(p.415)

· I, for my part, was prepared **with** passports; ← I, for

my part, was prepared **as to** passports;

· Those two **should** pull a pair of oars, we settled, and … ← Those two **would** pull a pair of oars, we settled, and …

· I should miss the afternoon coach, which **would** take me down in time for to-night. ← I should miss the afternoon coach, which **could** take me down in time for to-night.

(p.417)

· I mused over the fire for an hour **or** more. ← I mused over the fire for an hour **and** more.

Chapter 53.

(p.419)

· I … stood just within the shelter of the **doorway**. ← I … stood just within the shelter of the **door**,

(p.420)

· “Don’t you know?” said he, with a deadly **look**. ← “Don’t you know?” said he, with a deadly **leer**.

(p.423)

· I saw **flash** into his face. ← I saw **flare** into his face.
· before his slow and hesitating speech had formed **those** words. ← before his slow and hesitating speech had formed **these** words.

(p.424)

· as on the swift **stream** of my life fast running out of sea! ← as on the swift **tide** of my life fast running out of sea!

(p.426)

· when I came to myself—had opened on **it** before my mind saw it—and … ← when I came to myself—had opened on **them** before my mind saw it—and …

· “Yes, yes,” said I, **I can** walk. I have no hurt but …” ← “Yes, yes,” said I, **and** walk. I have no hurt but …”

(p.428)

· in that case interruption **must** be mischievous, ← in that case interruption **might** be mischievous,

· I was sorry ever to have had an ill opinion of him (which **made no impression on him at all**.) ← I was sorry ever to have had an ill opinion of him (which **he was quite indifferent about**.)

(p.429)

· I counted up to high numbers, to make sure **of myself**, and … ← I counted up to high numbers, to make sure **that I was steady**, and …
· I dozed for some **moments** or forgot; ← I dozed for some **instants** or forgot;
· that **a long** time had elapsed and the opportunity to save him was gone. ← that **some long** time had elapsed and the opportunity to save him was gone.

(p.430)

· “When it turns at nine o’clock,” said Herbert, **cheerfully**. ← “When it turns at nine o’clock,” said Herbert, **in a cheerful voice**,

Chapter 54.

(p.431)

· I had taken care that the boat **should be** ready and everything in order. ← I had taken care that the boat **was** ready and everything in order.

(p.432)

· pumps **going** in leaky ships, capstans going, ships going out to sea, ← pumps **clinking** in leaky ships, capstans going, ships going out to sea,
· unintelligible **sea-creatures** roaring curses over the bulwarks at respondent lightermen, ← unintelligible **sea-monsters** roaring curses over the bulwarks at respondent lightermen,

(p.433)

· I was not far out, **since** he said, after smoking a little: ← I was not far out, **for** he said, after smoking a little:

(p.434)

· … and nobody’s head **would be** troubled about him. ← … and nobody’s head **was** troubled about him.
· “**If all goes well**,” said I, “You will be perfectly free and safe again,” ← “**Please God**,” said I, “You will be perfectly free and safe again,”
· Maybe I’m a growing a trifle old **besides**.” ← Maybe I’m a growing a trifle old **too**.”
· I hinted that I thought he would be **safest** where he was, ← I hinted that I thought he would be **safe** where he was,
· but **the tide** was yet with us when we were off Gravesend. ← but **it** was yet with us when we were off Gravesend.

(p.435)

· … and under the bows of a large transport with **troops** on the forecastle looking down at us. ← … and under the bows of a large transport with **soldiers** on the forecastle looking down at us.
· some ballast-lighters, shaped like a child’s first rude **imitation** of a boat, lay low in the mud; ← some ballast-lighters, shaped like a child’s first rude **drawing** of a boat, lay low in the mud;
· there seemed to be no life, **save** here and there in the foreground a melancholy gull. ← there seemed to be no life, **but** here and there in the foreground a melancholy gull.

(p.436)

· a collier coming by us … looked **like** a comfortable home. ← a collier coming by us … looked **quite** a comfortable home.
· At length we **descried** a light and a roof, ← At length we **made out** a light and a roof,
· I dare say not unknown to **smuggling adventurers**; ← I dare say not unknown to **the smuggling interest**;

(p.437)

· **We found the air** as carefully excluded from both, ← **The air was** as carefully excluded from both,
· “A four-oared gallery, **did you say?**” said I. ← “A four-oared gallery, **eh?**” said I.

(p.438)

· Saying which he went out **in disdain**; ← Saying which he went out **disgusted**;
· This dialogue made us all uneasy, and me **very uneasy**. ← This dialogue made us all uneasy, and me **most of all**.

(p.439)

· but struck across the marsh in the direction of the **Nore**. ← but struck across the marsh in the direction of the **sea**.

(p.440)

· it was half-past one before we saw **her smoke**, ← it was half-past one before we saw **it**,
· we saw behind it the smoke of **another** steamer. ← we saw behind it the smoke of **the other** steamer.

(p.442)

· I was able to get some comforts for Magwitch—

Provis no **longer**—who had received **some very severe injury in** the chest ← I was able to get some comforts for Magwitch—Provis no **more**—who had received some in a **very severe contusion on** the chest

· So the pocket-book which had once been in my hands, passed into **the officer's**. ← So the pocket-book which had once been in my hands, passed into **his**.

(p.443)

· in the hunted wounded **shackled** creature who held my hand in his, ← in the hunted wounded **ironed** creature who held my hand in his,

· That he would be **leniently** treated, I could not hope. ← That he would be **mercifully** treated, I could not hope.

· I've seen my boy, and **he can** be a gentleman without me." ← I've seen my boy, and **he'll** be a gentleman without me."

(p.444)

· I foresaw that, **being** convicted, his possessions would be forfeited to the Crown. ← I foresaw that, **if he were** convicted, his possessions would be forfeited to the Crown.

· I felt his hand **tremble** as it held mine, ← I felt his hand **shake** as it held mine,

Chapter 55.

(p.446)

· he had suddenly given **up that tone**, ← he had suddenly given **it up**,

(p.447)

· Secondly—**Yes!** Secondly, there was a vague something lingering in my thoughts ← Secondly—**well!** Secondly, there was a vague something lingering in my thoughts

· "he **cannot** do better than go." ← "he **can hardly** do better than go."

· What a fortune for **the son of my mother!**" ← What a fortune for **her husband!**"

(p.449)

· Punctual to my **appointment**, I rang at the Castle gate on the Monday morning, ← Punctual to my **time**, I rang at the Castle gate on the Monday morning,

(p.450)

· To which the Aged replied with great **briskness**,

before saying that he gave, "All right, John," ← To which the Aged replied with great **cheerfulness**, **before saying that he** gave, "All right, John,"

(p.451)

He might think my brain was softening, or something of the **kind**." ← He might think my brain was softening, or something of the **sort**."

Chapter 56.

(p.453)

· Then, the Judge **addressed them**. ← Then, the Judge **began**.

(p.454)

· ... to the greater Judgment that knoweth all things and **cannot err**. ← ... to the greater Judgment that knoweth all things and **never errs**.

· a few nodded to the gallery, and **two or three** shook hands, ← a few nodded to the gallery, and **one or two** shook hands,

· how it was that he had come back for **my sake**. ← how it was that he had come back for **me**.

(p.455)

· To **the present** hour, the weary western streets of London on a col dusty spring night, ... ← To **this** hour, the weary western streets of London on a col dusty spring night, ...

· with their ranges of stern shut-up **mansions** and ... ← with their ranges of stern shut-up **houses** and ...

· The number of the days had **risen** to **ten**, when I saw a greater change in him ← The number of the days had **mounted up** to **eight**, when I saw a greater change in him

· "Yes. Not to lose a **moment** of the time." ← "Yes. Not to lose a **minute** of the time."

(p.456)

· he smiled again, and put **both his hands** upon it. ← he smiled again, and put **his other hand** upon it.

· I found the governor of the prison standing **near** me, ← I found the governor of the prison standing **by** me,

· he **whispered**, "You needn't go yet." ← he **said**, "You needn't go yet."

· "She lived and found **powerful** friends. ← "She lived and found **rich** friends.

Chapter 57.

(p.458)

・ a voice had called out over and over again that Miss Havisham was **consuming** within it; ← a voice had called out over and over again that Miss Havisham was **burning** within it;

(p.460)

・ He had a curious **idea** that the inkstand was on the side of him ← He had a curious **belief** that the inkstand was on the side of him

・ Occasionally, he was **tripped up** by some orthographical stumbling-block, ← Occasionally, he was **stopped** by some orthographical stumbling-block,

(p.461)

・ But she had wrote out a little coddleshell in her own hand **a day or two** afore the accident, ← But she had wrote out a little coddleshell in her own hand **wery few days** afore the accident,

・ And a cool **four** thousand, Pip!" ← And a cool **three** thousand, Pip!"

(p.462)

・ you can take in more nor one additional **shovel-full** to-day. ← you can take in more nor one additional **bit** to-day.

(p.466)

・ The last word **grated** on me; **but** how could I remonstrate! ← The last word **grated** on me; **yet** how could I remonstrate!

(p.468)

・ whether we shall go away to a distant place where an opportunity awaits me, which I set **aside** when it was offered, ← whether we shall go away to a distant place where an opportunity awaits me, which I set **by** when it was offered,

・ And now, **dear** Bidy, if you can tell me that … ← And now, **dearest** Bidy, if you can tell me that …

* ビディーを「最愛の」(dearest) と表現する事は様々な点で問題があったと思われる。

Chapter 58.

(p.470)

・ It was the worst **course** I could have taken, ← It was the worst **tone** I could have taken,

(p.472)

・ **Yes**, Joseph,' says you," here Pumblechook shoo his head and hand at me, ← **Aye**, Joseph,' says you," here Pumblechook shoo his head and hand at me,

(p.475)

・ don't tell him, Bidy, that I was ungenerous and **unjust**; ← don't tell him, Bidy, that I was ungenerous and **petulant**;

Chapter 59.

(p.476)

・ For **eleven** years, I had not seen Joe nor Bidy with my bodily eyes ← For **eight** years, I had not seen Joe nor Bidy with my bodily eyes

* ここまでの修正箇所からも明らかなように、ディケンズは数字に関する修正をかなり多くおこなっているが、その中でも最大のものはこの部分であろう。

(p.477)

・ There was something in the action and in the **light** pressure of Bidy's wedding-ring, ← There was something in the action and in the **slight** pressure of Bidy's wedding-ring,

・ "you are sure you don't fret for her?" "**O no—I think not**, Bidy." ← "you are sure you don't fret for her?" "**I am sure and certain**, Bidy."

* 結末の変更と併せて重要な修正。ピップが抱えるエステラへの思いについて、草稿段階では明確にその存在を否定していたものが、曖昧な形に変わり、まだ彼女への未練がある、という解釈を可能にしている(無論、言葉の上では否定しており、「未練はない」という解釈も可能である)。

(p.478)

・ A cold silvery mist had **veiled** the afternoon, ← A cold silvery mist had **come on in** the afternoon,

・ … when I **beheld** a solitary figure in it. ← … when I **saw** a solitary figure in it.